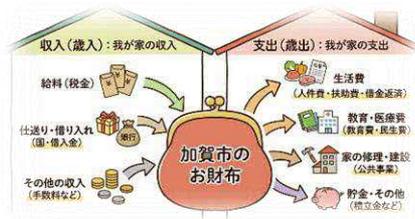


# もっと住民が幸せな加賀市へ

## 令和8年3月加賀市議会定例会 予算説明会資料



# 目次

1. 全体の概要と5つの柱について --- 2
2. 令和8年度当初予算 ----- 1 3
3. 令和7年度3月補正予算 ----- 6 3
4. 議案概要 ----- 7 8

# 令和8年度 加賀市当初予算概要

	予算額	前年度比	
<b>1 一般会計予算</b> (借換債を除く場合)	<b>367億500万円</b> (365億5,984万円)	<b>△50億2,200万円</b> (△47億5,286万円)	<b>△12.0%</b> (△11.5%)
<b>2 特別会計予算</b> (5会計)	<b>159億2,930万円</b>	<b>+6億4,870万円</b>	<b>+4.2%</b>
<b>3 企業会計予算</b> (3会計) (借換債を除く場合)	<b>205億9,890万円</b> (200億6,764万円)	<b>△20億2,550万円</b> (△2億7,046万円)	<b>△9.0%</b> (△1.3%)
<b>全会計の予算総額</b> (借換債を除く場合)	<b>732億3,320万円</b> (725億5,678万円)	<b>△63億9,880万円</b> (△43億7,462万円)	<b>△8.0%</b> (△5.7%)

# 令和8年度 予算編成と事業評価のプロセス



もっと住民が幸せな加賀市へ

# 令和8年度加賀市当初予算 5つの柱



1. スピーディーに声が届く、わかりやすい身近な政治



2. 未来へ繋ぐ強くしなやかな財政



3. 加賀市の魅力の磨き上げ



4. 子供に幸福、県ナンバーワンの教育都市の実現



5. 医療福祉・交通・防災の質を高める



## 柱1

# スピーディーに声が届く、 わかりやすい身近な政治



直接対話を大切にしながらデジタルでも気軽に意見を

市民との地域別、テーマ別のタウンミーティングを毎月交互に開催し、直接意見交換します。また、市民がいつでも市への意見を投稿できるオンラインシステム「デジタル目安箱」を活用し、市民提案型の市政を推進します。

意見内容は市政の取組の参考とし、必要なものは予算にも反映していきます。



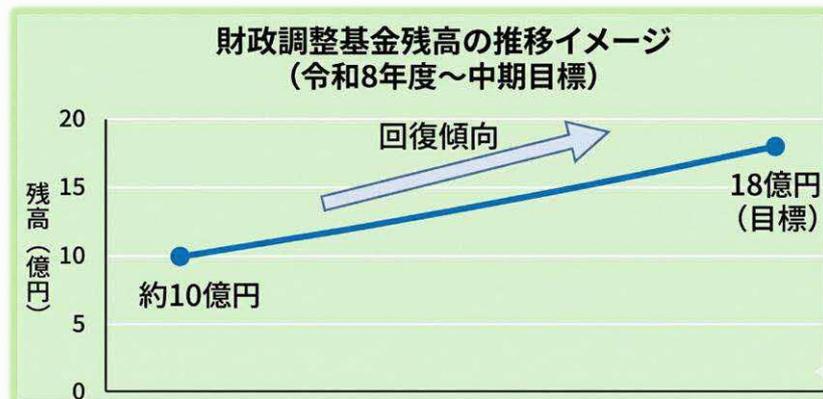


## 柱2

# 未来へ繋ぐ強くしなやかな財政

### 財政調整基金18億円の回復を目指す

令和8年度予算は、事業の「選択と集中」を徹底します。当初予算では、市民生活に不可欠なサービスを最優先としつつ、必要な施策については段階的に補正予算を計上していきます。また、歳入面でもふるさと納税等の推進により自主財源のさらなる創出に取り組むことで歳入と歳出のバランスを図り、中期的な財政調整基金18億円への回復を目指します。





## 柱3

# 加賀市の魅力の磨き上げ

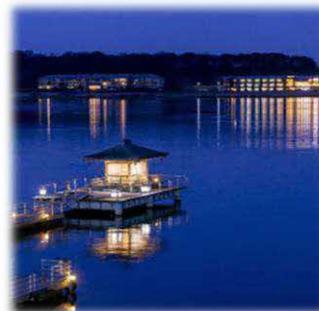
地域の宝を磨き、世界に誇る加賀市へ

加賀市が誇る歴史的な町並みや3つの温泉地、  
伝統的工芸品といった資源をさらに磨き上げ、  
「物語性」のある観光戦略を実践します。



【主な事業と令和8年度当初予算額】

- ◎伝統的工芸品海外等新規販路獲得事業 1,500千円
- ◎九谷焼振興推進事業・山中漆器振興推進事業 19,501千円
- ◎歴史的風致維持向上計画整備事業 江沼神社庭園整備 57,100千円





## 加賀市の魅力の磨き上げ

### 【主な事業と令和8年度当初予算額】

<p>伝統的工芸品海外等新規 販路獲得事業</p>	<p>北前船寄港地では「伝統的工芸品」が北前船で全国に輸送されることで、新たな市場を開拓し、相互に関わりながら地域経済を潤し牽引してきた。 北前船寄港地としての日本遺産認定自治体のネットワークを生かして、イタリアなどで九谷焼や山中漆器を出展し、国外市場の新規開拓を目指す。</p>		<p>1,500千円</p>
<p>九谷焼振興推進事業・ 山中漆器振興推進事業</p>	<p>九谷焼と山中漆器は、加賀市が誇る伝統産業であり、その技術継承と産業振興は地域にとって重要な課題となっている、現在直面している後継者不足の解消や、国内外への販路拡大・PR活動に注力することで、職人の育成と技術継承を図り、地域経済の活性化を図る。</p>		<p>19,501千円</p>
<p>歴史的風致維持向上計画 整備事業 江沼神社庭園整備</p>	<p>歴史的風致維持向上計画に基づき、重点区域である城下町大聖寺の歴史的風致の維持向上を図る。国交省補助を活用し、歴史的風致の核である江沼神社庭園を市指定名勝にふさわしく整備を行い、加賀市固有の歴史的風致の維持向上を図る。</p>		<p>57,100千円</p>



## 柱4

# 子供に幸福、県ナンバーワン の教育都市の実現

### 一人ひとりが輝くための教育環境づくり

これまでの個別最適かつ協働的な学びを生かしながら、子どもたちの「基礎学力の定着」、  
「豊かな歴史や文化を活かした郷土教育」に取り組みます。

#### 【主な事業と令和8年度当初予算額】

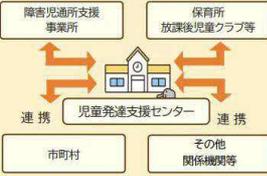
- ◎教育ビジョン推進事業 189,778千円
- ◎小中学校施設整備事業 605,930千円（令和7年度3月補正分を含む（繰越明許））
- ◎福祉人材確保・育成事業 11,079千円
- ◎児童発達支援体制検討事業（障がい児（家族）サポート強化事業） 1,474千円
- ◎歴史民俗収蔵庫資料移設事業 5,685千円





# 子供に幸福、県ナンバーワンの教育都市の実現

## 【主な事業と令和8年度当初予算額】

<p>教育ビジョン推進事業</p>	<p>これまで「BE THE PLAYER」をスローガンに教育改革を進め、子どもたちが自ら考え、動き、生み出すことを目指した授業づくりを行ってきた。 その方向性をそのままに、学びを更に進化させ、子どもの「今」と「未来」をもっと幸せにするための次なる挑戦を行う。 (1) 自律した学びを育てる事業 (2) 誰一人取り残さない事業 (3) 地域・保護者と一緒に事業 (4) 先生も幸せに事業</p>		<p>189,778千円</p>
<p>小中学校施設整備事業</p>	<p>経年劣化等により不具合が生じている小中学校の施設について、児童生徒が安全・安心で快適な環境で学習できるよう整備を行う。</p>		<p>605,930千円 ※令和7年度3月補正分を含む(繰越明許)</p>
<p>福祉人材確保・育成事業</p>	<p>市内の保育士及び介護・障がい福祉人材の確保に向けて、就職奨励金の支給や就職説明会による人材確保、資格取得等の助成やハラスメント対策等の定着促進を行い、就業環境の改善等を促進する。</p>		<p>11,079千円</p>
<p>児童発達支援体制検討事業（障がい児（家族）サポート強化事業）</p>	<p>従来の児童発達支援センターに地域の中核拠点となる機能を備えるため、課題等を整理し、市全体の障がい児発達支援体制について検討を行い、今後のあり方を取りまとめる。</p>		<p>1,474千円</p>
<p>歴史民俗収蔵庫資料移設事業</p>	<p>解体予定の「旧歴史民俗資料館」で保管している文化的価値の高い資料を、一時的に「旧黒崎小学校」に移設し、今後の所蔵資料の公開に向けて、展示場所や展示方法などの検討を行う。</p>		<p>5,685千円</p>



## 柱5

# 医療福祉・交通・防災の質を高める

誰もが安心して暮らせる質の高い生活基盤を

市民の命と暮らしの安心・安全を最優先に考え、  
医療福祉、交通、防災の各分野におけるサービスを  
質的に向上させます。

### 【主な事業と令和8年度当初予算額】

- ◎乗合タクシー運行事業 87,390千円
- ◎災害用備蓄品購入事業 44,550千円
- ◎橋梁長寿命化対策事業（点検・修繕） 399,450千円
- ◎市道C第461号線 道路災害復旧事業（柴山町地内） 296,800千円
- ◎柴山潟周辺整備事業 27,539千円





# 医療福祉・交通・防災の質を高める

## 【主な事業と令和8年度当初予算額】

乗合タクシー運行事業	高齢者や高校生をはじめとした自家用車を利用できない人の日常生活における移動手段を確保する。通院、買い物などの日常生活に必要な移動が可能となるとともに、外出の機会が増えることにより健康の増進にもつなげる。		87,390千円
災害用備蓄品購入事業	令和7年5月に公表された石川県地震被害想定の大規模な避難所への避難者（約24,000人）が3日間過ごすために必要な物資を備蓄するため、物資を追加で購入する。	<p>3日分確保する備蓄品</p> <p>液体ミルク、使い捨て哺乳瓶、飲料水、アルファ米、携帯トイレ、</p>  <p>アルファ米      保存水      携帯トイレ</p>	44,550千円
橋梁長寿命化対策事業 (点検・修繕)	加賀市橋梁長寿命化修繕計画により健全度判定区分Ⅲ(道路橋の機能に支障が生じる可能性があり、早期に措置を講ずべき状態)以上の橋梁について第三者被害の防止・円滑な交通を確保するため修繕を実施し、橋梁の長寿命化を図る。		399,450千円
市道C第461号線 道路 災害復旧事業 (柴山町 地内)	令和6年1月1日に発生した令和6年能登半島地震により被災した市道C第461号線(柴山町地内)の災害復旧工事を行い、道路交通の安全を図る。		296,800千円
柴山潟周辺整備事業	眺望景観の保全を第一に、防災機能を有した(仮称)柴山潟公園を整備するとともに、隣接する湖畔公園を拡張し柴山潟に接した拠点施設を整備し、湖岸遊歩道と結ぶことにより誘客を図る。		27,539千円

## 2. 令和8年度当初予算

### (1) 総括

- 当初予算概要 ----- 1 4
- 市債及び基金の状況 ----- 1 5

### (2) 主要事業等の概要 ----- 1 8

# 令和8年度 加賀市当初予算概要

	予算額	前年度比	
<b>1 全会計予算総額</b> (借換債を除く場合)	732億3,320万円 (725億5,678万円)	△63億9,880万円 (△43億7,462万円)	△8.0% (△5.7%)
<b>2 一般会計予算</b> (借換債を除く場合)	367億500万円 (365億5,984万円)	△50億2,200万円 (△47億5,286万円)	△12.0% (△11.5%)
<b>3 特別会計予算(5会計)</b>	<b>159億2,930万円</b>	<b>+6億4,870万円</b>	<b>+4.2%</b>
(1) 国民健康保険	66億780万円	+3億270万円	+4.8%
(2) 後期高齢者医療	15億5,740万円	+2億6,940万円	+20.9%
(3) 介護保険	74億1,400万円	+6,210万円	+0.8%
(4) 加賀山代温泉財産区	1億4,050万円	+550万円	+4.1%
(5) 加賀山中温泉財産区	2億960万円	+900万円	+4.5%
<b>4 企業会計予算(3会計)</b> (借換債を除く場合)	205億9,890万円 (200億6,764万円)	△20億2,550万円 (△2億7,046万円)	△9.0% (△1.3%)
(1) 病院事業 (借換債を除く場合)	112億6,620万円 (112億6,620万円)	△11億8,070万円 (+11億560万円)	△9.5% (+10.9%)
(2) 水道事業 (借換債なし)	47億7,540万円	+7億4,730万円	+18.6%
(3) 下水道事業 (借換債を除く場合)	45億5,730万円 (40億2,604万円)	△15億9,210万円 (△21億2,336万円)	△25.9% (△34.5%)

# ○ 市債及び基金の状況

## (1) 市債残高の状況

### ① 一般会計

(単位：百万円)

項 目	令和6年度末 残高	令和7年度末 残高見込	令和8年度中の 増減	令和8年度末 残高見込
一 般 会 計	39,215	44,361	△ 1,312	43,049
合併特例債	5,811	4,976	△ 821	4,156
過疎対策事業債	2,655	2,722	492	3,214
辺地対策事業債	95	58	△ 25	33
臨時財政対策債	11,135	9,983	△ 1,109	8,875
退職手当債	0	0	0	0
その他の市債	19,519	26,620	150	26,772

### ② 企業会計

項 目	令和6年度末 残高	令和7年度末 残高見込	令和8年度中の 増減	令和8年度末 残高見込
病院事業会計	5,322	5,537	△ 248	5,289
水道事業会計	12,984	13,100	234	13,334
下水道事業会計	13,941	15,709	△ 273	15,436
計	32,247	34,346	△ 287	34,059

合 計	71,462	78,707	△ 1,599	77,108
-----	--------	--------	---------	--------

※表中の数値は端数の関係で合計が合わない場合があります。

## (2) 基金の状況 (1/2)

### ① 一般会計

(単位：百万円)

項 目	令和6年度末 残高	令和7年度末 残高見込	令和8年度中の 増減	令和8年度末 残高見込
財政調整基金	1,013	1,269	△ 263	1,006
減債基金	761	445	△ 354	91
国際交流基金	0	0	0	0
九谷焼技能後継者育成基金	2	2	0	2
山中伝統漆器後継者育成基金	13	12	△ 2	10
三森良二郎奨学基金	148	134	△ 7	127
紙谷用水路管理基金	5	4	0	4
まちづくり振興基金	401	212	△ 160	52
環境基金	9	9	0	9
職員退職手当基金	214	214	0	214
環境美化センター施設整備基金	170	151	△ 35	116
産業人材育成基金	25	20	△ 3	17
交通安全基金	7	6	△ 1	5
学校施設整備基金	2	2	0	2
本川弘一科学奨励基金	3	3	0	3
重点事業推進基金	298	39	△ 38	1
子ども未来基金	25	27	△ 2	25
森林環境基金	39	11	△ 8	3
企業版ふるさと納税基金	20	19	△ 6	13
災害対策基金	148	71	△ 47	24
一般会計 計	3,303	2,650	△ 926	1,724

## (2) 基金の状況 (2/2)

### ② 特別会計

(単位：百万円)

項 目	令和6年度末 残高	令和7年度末 残高見込	令和8年度中の 増減	令和8年度末 残高見込
国民健康保険事業調整基金	972	764	△ 258	506
介護保険事業調整基金	1,227	1,348	△ 2	1,346
加賀山代温泉財産区事業調整基金	62	71	0	71
加賀山中温泉財産区事業調整基金	132	126	△ 16	110
特別会計 計	2,393	2,309	△ 276	2,033
合 計	5,696	4,959	△ 1,202	3,757

※表中の数値は端数の関係で合計が合わない場合があります。

## 令和8年度 当初予算 主要事業等の概要

○総務部			
1	ふるさと納税推進事業	-----	20
○危機対策部			
2	災害用備蓄品購入事業	-----	21
○市民生活部			
3	加賀市立金明地区会館大規模改修事業	-----	22
4	加賀市立山中温泉地区会館等整備事業	-----	23
5	乗合タクシー運行事業	-----	24
○健康福祉部			
6	福祉人材確保・育成事業	-----	25
7	児童発達支援体制検討事業	-----	26
○産業部			
8	伝統的工芸品海外等新規販路獲得事業	-----	27
9	九谷焼振興推進事業	-----	28
10	山中漆器振興推進事業	-----	30
11	ほっと石川観光プラン推進ファンド	-----	33
12	インバウンド推進事業	-----	34
13	新たな農業人材による産地活性化事業	-----	35
○建設部			
14	道路照明灯LED化事業	-----	36
15	アスファルト舗装事業	-----	37
16	橋梁長寿命化対策事業（点検・修繕）	-----	39
17	市道C第461号線 道路災害復旧事業（柴山町地内）	-----	40
18	柴山瀧周辺整備事業	-----	41
19	大聖寺歴史的街なみ整備事業	-----	42
○上下水道部			
20	物価高騰対応 水道料金基本料金免除事業	-----	43
21	管路耐震化事業	-----	44
22	下水道処理施設の統合事業	-----	45
22-1	(1) 管渠（圧送管）整備事業	-----	46
22-2	(2) 大聖寺川浄化センター等増強事業	-----	47
○消防本部			
23	消防本部非常用発電設備更新事業及び訓練塔整備事業	-----	48
24	消防本部庁舎改修事業	-----	49

○教育委員会事務局

25	教育ビジョン推進事業	50
25-1	(1) 自律した学び手を育てる事業	51
25-2	(2) 誰一人取り残さない事業	52
25-3	(3) 地域・保護者と一緒に事業	53
25-4	(4) 先生も幸せに事業	54
26	部活動の在り方改革(再掲)	55
27	小中学校施設整備事業	58
28	歴史的風致維持向上計画整備事業 江沼神社庭園整備	59
29	加賀市武道館駐車場整備事業	60
30	歴史民俗収蔵庫資料移設事業(再掲)	61
31	体育施設改修事業	62

※複数の部局に関する事業等については、そのうち主要な事業を所管する部局に分類しています。

# ふるさと納税推進事業

## 事業の内容

### 【事業の目的】

民間事業者と連携し、ふるさと納税を行う際の寄附者の利便性の向上および市の魅力を発信する多様な地場産品を活用した返礼品の充実により、ふるさと納税（寄附額）の維持および増額を図る。

### 【目標金額】

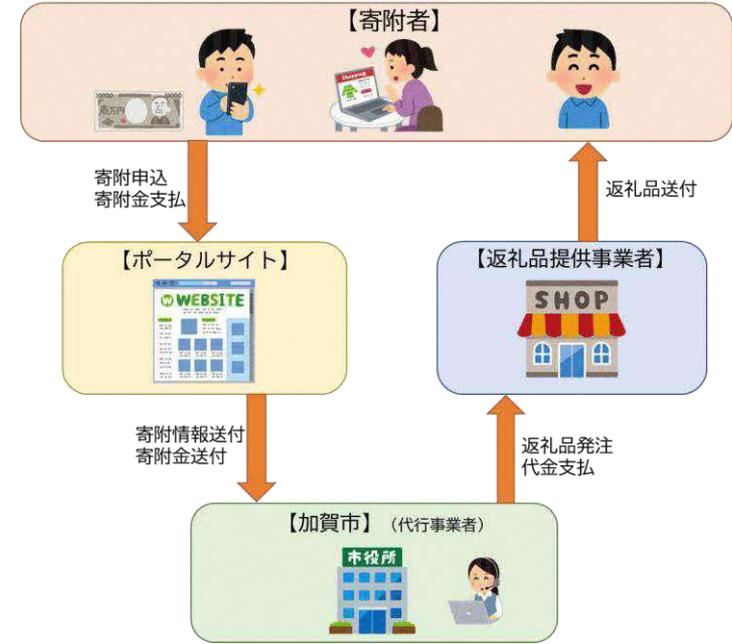
1,300,000千円

### 【概要】

1 事業年度	令和8年度
2 事業費	640,000千円
3 事業内容	
(1) 返礼品費	354,000千円
(2) カタログ印刷費等	674千円
(3) 郵便料	2,193千円
(4) 広告料	12,551千円
(5) 返礼品送料、各種手数料・利用料	270,582千円
4 財源内訳	
その他（ふるさと納税寄附金）	640,000千円

## 事業イメージ

### ふるさと納税



#### <寄附額増加に向けた取り組み>

- ・魅力的な新規返礼品の開発
- ・サイトの更新等による既存返礼品の見直し
- ・効果的な広告掲載（オンライン広告等）
- ・返礼品提供事業者向けセミナー・交流会の開催
- ・寄附者との交流イベントの企画・出展 など

#### <ふるさと納税寄附額（寄附件数）の推移>

令和5年度	519,294,143円	(11,954件)
令和6年度	999,393,800円	(32,697件)
令和7年度	1,124,231,500円	(30,701件)※

※R8.1月末時点の申込ベース

# 災害用備蓄品購入事業

危機対策課

【予算計上科目：9款 1項 5目中 防災活動推進費】

## 事業の内容

### 【事業の目的】

令和7年5月に公表された石川県地震被害想定の避難所への避難者（約24,000人）が3日間過ごすために必要な物資を備蓄するため、既に確保している初日分を除く残り2日分のうち、2日目分の物資を追加で購入し、災害時に円滑に避難者に供給できるようにする。3日目分は今後備蓄する予定。

### 【概要】

- |                    |          |
|--------------------|----------|
| 1 事業年度             | 令和8年度    |
| 2 事業費              | 44,550千円 |
| 3 事業内容             |          |
| (1) 備蓄品購入費         | 44,204千円 |
| (2) システム等使用料       | 346千円    |
| 4 財源内訳             |          |
| その他（市町村振興協会市町村交付金） | 12,000千円 |
| 市（災害対策基金繰入金）       | 32,550千円 |

## 事業イメージ

### 3日分確保する備蓄品

液体ミルク、使い捨て哺乳瓶、飲料水、アルファ米、携帯トイレ、



アルファ米



保存水



携帯トイレ

### 備蓄品（飲食物）供給の想定

	初日	2日目	3日目	4日目	5日目	6日目	7日目	8日目	9日目	10日目
食事	1食 2食 3食	4食 5食 6食	7食 8食 9食	10食 11食 12食	13食 14食 15食	16食 17食 18食	19食 20食 21食	22食 23食 24食	25食 26食 27食	28食 29食 30食
自助	→									
市の備蓄	→			※令和8年度当初予算で2日目分を確保						
流通備蓄		→								
県の備蓄		→								
他市応援		→								
応援協定		→								
国の支援				→						

発災初日から3日目までは各家庭等での自助と市の備蓄品で対応し、4日目以降は流通備蓄や外部の支援で必要な物資を確保します。

# 加賀市立金明地区会館大規模改修事業

## 事業の内容

### 【事業の目的】

地区コミュニティ活動の拠点施設である地区会館の大規模改修工事を行うことにより、施設の利用を促進し、地区住民の連帯強化とコミュニティ活動の活性化を図る。

### 【概要】

1 事業年度	令和7年度～令和8年度
2 総事業費	141,199千円
3 完成予定	令和9年3月

### 【令和8年度 事業の概要】

1 事業費	134,002千円
2 事業内容	
(1) 大規模改修工事費	127,919千円
(2) 大規模改修工事監理費	5,577千円
(3) 事務費	506千円
3 財源内訳	
国（コミュニティ供用施設整備事業補助金 3/4）	100,353千円
県（コミュニティ供用施設整備事業費補助金）	3,604千円
市（一般補助施設整備等事業債）	22,300千円
市（一般財源）	7,745千円

## 事業イメージ

金明地区会館は昭和59年に建設されて以来、大規模な改修工事を行っておらず、内外部を問わず老朽化が進んでいることから、下記の内容の改修工事を行う。

（令和7年度に実施設計を完了済み）

### 【改修内容（予定）】

- ・多目的トイレの設置
- ・空調設備の更新
- ・内外装の改修
- ・バリアフリー化
- ・照明のLED化

### 【現在の地区会館の状況（写真）】



（正面）



（男子トイレ）

# 加賀市立山中温泉地区会館等 整備事業

地域振興課・子育て支援課・文化課  
【予算計上科目：2款 1項 12目中 地区会館整備費（単独）  
3款 2項 4目中 児童センター整備費  
10款 5項 3目中 山中温泉文化会館等整備費】

## 事業の内容

### 【事業の目的】

山中温泉文化会館及び山中児童センターが令和6年能登半島地震の影響により使用を休止したため、山中温泉地区のまちづくり活動に支障をきたしていることから、両施設を解体し跡地に「山中温泉地区会館」等を新たに建設する。

### 【概要】

- 1 事業年度 令和7年度～令和10年度
- 2 総事業費 907,241千円

### 【令和8年度 事業の概要】

- 1 事業費 390,700千円
- 2 事業内容
  - (1) 山中温泉地区会館等整備事業 44,800千円  
・実施設計業務委託費
  - (2) 山中児童センター解体工事費 73,900千円
  - (3) 山中温泉文化会館解体工事費 272,000千円
- 3 財源内訳
 

国（空家対策総合支援事業補助金）	84,900千円
市（過疎対策事業債）	305,800千円

## 事業イメージ

### 【これまでの経緯】

- ・令和6年12月から令和7年5月にかけて「山中温泉地区会館整備検討会」を開催し、整備場所や建物の基本構想について会議を開催した。
- ・会議では整備適地について「山中温泉文化会館及び山中児童センター跡地」とした。
- ・令和7年7月に検討会でまとめた報告書について山中温泉地区内で意見募集を行った。
- ・令和7年10月に旅館組合・観光協会との意見交換会を行った。

山中温泉文化会館



山中児童センター



### 【スケジュール】

令和7年度	山中温泉文化会館及び山中児童センター解体工事実施設計
令和8年度	山中温泉文化会館及び山中児童センター解体工事 山中温泉地区会館等 新築工事実施設計
令和9～ 10年度	山中温泉地区会館等 新築工事
令和10年度	供用開始(予定)

# 乗合タクシー運行事業

## 事業の内容

### 【事業の目的】

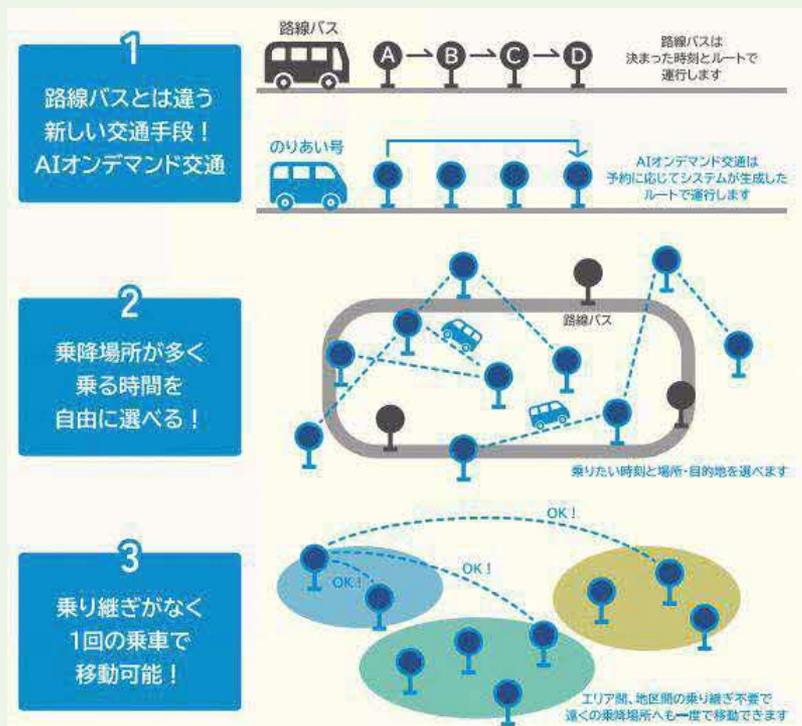
高齢者や高校生をはじめとした自家用車を利用できない人の日常生活における移動手段を確保することを目的とする。通院、買い物などの日常生活に必要な移動が可能となるとともに、外出の機会が増えることにより健康の増進にもつながる。

### 【概要】

1 事業年度	令和8年度
2 事業費	87,390千円
3 事業内容	
(1) 運行委託料 (予約センターの回線増設含む)	76,550千円
(2) アプリ改修・使用料 (決済機能の拡充等)	10,184千円
(3) 諸経費	656千円
4 財源内訳	
その他（南加賀広域圏事務組合基金運用交付金）	6,050千円
市（一般財源）	81,340千円

## 事業イメージ

### 【乗合タクシー(AIオンデマンド)】



\*混雑状況等に応じて最大8台で運行

### 《課題の解決》

利便性向上に伴う利用件数の増加によって、予約センターへの電話が集中し、予約が取りにくい状況が発生している。このため、**予約センターの回線増設**を行うとともに、**予約アプリの機能改修**（決済機能の拡充等）を進め、アプリ利用の促進による予約環境の改善を図る。

# 福祉人材確保・育成事業

子育て支援課・ふれあい福祉課・介護福祉課

【予算計上科目： 3款 2項 3目中 経営安定助成費

3款 1項 2目中 障害福祉対策事業費

(介護保険特別会計)5款 1項 1目中 介護サービス運営支援事業費】

## 事業の内容

### 【事業の目的】

市内の保育士及び介護・障がい福祉人材の確保に向けて、就職奨励金の支給や就職説明会による人材確保、資格取得等の助成やハラスメント対策等の定着促進を行い、就業環境の改善等を促進する。

### 【概要】

1 事業年度	令和8年度
2 事業費	11,079千円
3 事業内容	
(1) 保育士確保・定着事業費	450千円
(2) 介護サービス運営支援事業費 (介護保険特別会計)	10,479千円
(3) 障害福祉対策費	150千円
4 財源内訳	
市 (第1号被保険者保険料)	10,479千円
市 (一般財源)	600千円

## 事業イメージ

### 【人材確保】

福祉の仕事の広報、若手職員や有資格の新規採用者に就職奨励金の支給、就職説明会を実施し人材確保を図る。

### 【定着促進】

研修やキャリアアップの資格取得に必要な受験料の一部の補助、ハラスメント対策、中堅職員のケアマネジメントの質の向上、IT化推進、ICT・IoT導入支援等を行い、既存職員の定着支援を図る。



福祉人材の確保及び定着促進により、働きやすい環境を整える。

### ●保育士等人材確保・定着事業

継続

〈対象〉新たに就労した者であり、2年以上継続して勤務することが見込まれる、40歳未満の者

- ・ 就労奨励金 10万円
- ・ 新卒者支援金 5万円 (就労奨励金に加算)



### ●介護人材養成支援事業

拡充

〈対象〉介護職員として雇用された45歳未満の者

- ・ 就職奨励金 5～10万円 (資格等により加算あり)
- ・ 研修・資格試験補助あり (3～10万円)

新規・奨学金返済補助メニュー実施予定

- ・ 市外からU・Iターンで転入した方を対象に家賃補助メニュー実施予定



### ●福祉人材確保・定着事業

継続

〈対象〉市内障がい福祉事業所に職員 (常勤) として雇用され1年以上継続勤務する45歳未満の者

- ・ 就労奨励金 10万円
- ・ 新卒及び資格者支援金 5万円 (就労奨励金に加算)



# 児童発達支援体制検討事業 (障がい児(家族)サポート強化事業)

介護福祉課・子育て支援課  
【予算計上科目：3款 1項 1目中  
健康福祉審議会費】

## 事業の内容

### 【事業の目的】

児童福祉法の改正により、従来の児童発達支援センターに地域の中核拠点となる機能が求められることとなったが、本市の児童発達支援センターには現在必要となる機能が一部備わっていないことや、「こども育成相談センター」と機能が一部重なっていること等の課題があることから、市全体の障がい児発達支援体制について検討を行い、今後のあり方を取りまとめる。

### 【概要】

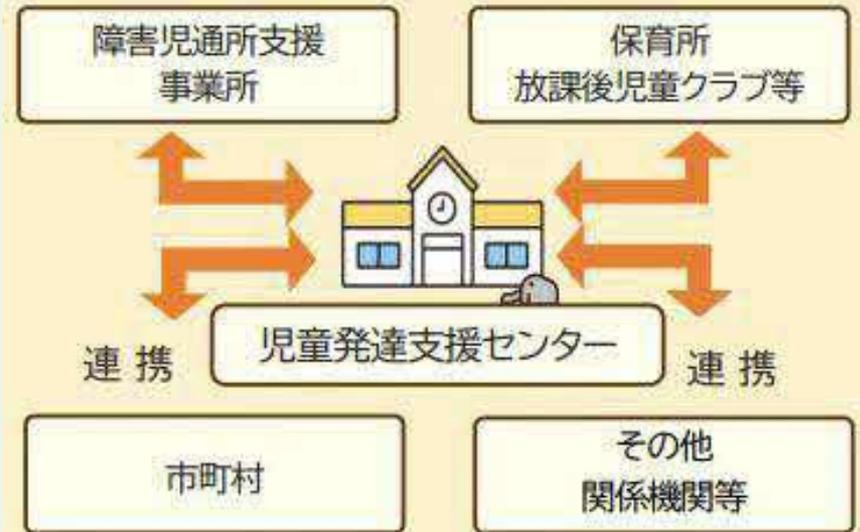
1 事業年度	令和8年度
2 事業費	1,474千円
3 事業内容	
(1) 報酬(委員報酬)	1,253千円
(2) 報償(手話通訳)	105千円
(3) 旅費(委員旅費)	92千円
(4) 需用費(会議用飲料)	24千円
4 財源内訳	
市(一般財源)	1,474千円

実施にあたっては、加賀市健康福祉審議会障害者分科会およびこども分科会に、「児童発達支援体制検討専門部会」を設置し、目指す姿等方針について検討していく。

## 事業イメージ

### 【児童発達支援センター(中核拠点型※)イメージ】

※地域の障害児の健全な発達において中核的な役割を担う機関として、高度の専門的な知識及び技術を必要とする児童発達支援を提供し、あわせて障害児の家族、指定障害児通所支援事業者その他の関係者に対し、相談、専門的な助言その他の必要な援助を行う施設



※必要となる4つの中核機能

- ①幅広い高度な専門性に基づく発達支援・家族支援機能
- ②地域の障害児通所支援事業所に対するスーパーバイズ・コンサルテーション機能
- ③地域のインクルージョン推進の中核機能
- ④地域の発達支援に関する入口としての相談機能

# 伝統的工芸品海外等新規販路獲得事業

## 事業の内容

### 【事業の目的】

北前船寄港地では「伝統的工芸品」が北前船で全国に輸送されることで、新たな市場を開拓し、相互に関わりながら地域経済を潤し牽引してきた。

日本遺産認定自治体のネットワークを活かして、各産地が連携し、それぞれの地域が誇る伝統的工芸品について一層の認知向上と国外市場等の新規開拓を目指すことで、相乗的に地域産業の振興を図る。

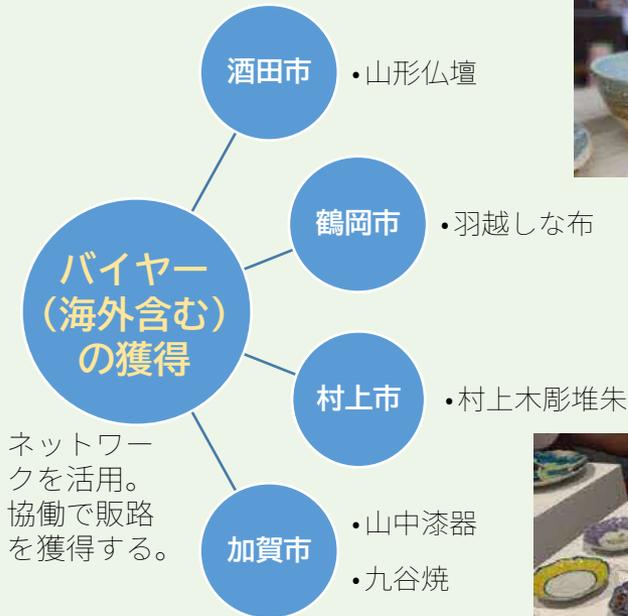
### 【概要】

1 事業年度	令和8年度
2 事業費	1,500千円
3 事業内容	
(1) 伝統的工芸品海外等新規販路獲得事業負担金	1,500千円
4 財源内訳	
市（一般財源）	1,500千円

## 事業イメージ

- 村上市・酒田市・鶴岡市・加賀市で共同実施
- イタリア等海外における展示会に伝統的工芸品を出展

北前船の寄港地であった自治体のうち、伝統的工芸品の産地が各工芸品の価値とともに産地の魅力を活かし、相乗効果と相互補完により伝統的工芸品を図る。



ネットワークを活用。  
協働で販路を  
獲得する。



(展示会のイメージ)



(九谷焼展の様子)

# 九谷焼振興推進事業

商工課

【予算計上科目：7款 1項 2目中 九谷焼振興推進費】

## 事業の内容

### 【事業の目的】

加賀市は九谷焼発祥の地であり、市をあげて守るべき九谷焼は、後継者不足と販路開拓が課題となっている。

課題を解決し技術継承及び産業振興を図るため、加賀九谷焼陶磁器協同組合と連携し各事業を実施する。

### 【概要】

- |                    |         |
|--------------------|---------|
| 1 事業年度             | 令和8年度   |
| 2 事業費              | 3,730千円 |
| 3 事業内容             |         |
| (1) 加賀市九谷焼後継者育成事業  | 30千円    |
| (2) 九谷焼振興推進費       | 2,200千円 |
| (3) 関東・関西九谷焼展開催事業  | 500千円   |
| (4) 九谷焼開窯370周年記念事業 | 1,000千円 |
| 4 財源内訳             |         |
| 市（九谷焼技能後継者育成基金繰入金） | 8千円     |
| 市（産業人材育成基金繰入金）     | 1,257千円 |
| 市（一般財源）            | 2,465千円 |

## 事業イメージ

九谷焼生誕の地。まさに市民の誇りともいえる産業をさらに磨き上げ、地域の活性化をめざす。



# 九谷焼振興推進事業

## 事業の内容（個別）

### (1) 加賀市九谷焼後継者育成事業 30千円

組合に属する九谷焼製造に係る工程に師事する者を支援。



### (2) 九谷焼振興推進費 2,200千円

九谷焼産業活動の推進として、加賀九谷陶磁器協同組合の活動を助成。

- ・ 組合を通じた九谷焼の宣伝PR
- ・ 青泉窯を活用した若手作家への型打ち技法等技術継承

## 事業の内容（個別）

### (3) 関東・関西九谷焼展開催事業 500千円

東京丸善、日本橋三越本店と阪急うめだで開催される現代九谷焼作家展の開催を支援。

特に若手作家の販路獲得に貢献し、九谷焼の将来を担う世代の作家の事業活動を後押しする。

※当初予算500千円は、内阪急うめだで開催の若手作家展「コトコトステージ」分予算です。



### (4) 九谷焼開窯370周年記念事業 1,000千円

・ 石川県九谷焼陶磁器商工業協同組合連合会が中心となり、370周年を記念した歴史書・データベースの編纂を行うことに対する支援。

・ 金沢市、能美市、小松市、加賀市が協調

# 山中漆器振興推進事業

【予算計上科目：7款 1項 2目中 山中漆器振興推進費】

## 事業の内容

### 【事業の目的】

山中漆器の国内外の販路拡大に係る事業やPRを行うことで、山中漆器産業の振興を図るとともに、後継者の育成による技術の継承に努め、地域の伝統産業の活性化につなげる。

### 【概要】

1 事業年度	令和8年度
2 事業費	15,771千円
3 事業内容	
(1) 山中漆器産地振興対策事業	5,000千円
(2) BIGやまなかフェア「山中漆器祭」開催事業	2,300千円
(3) 山中木製漆器新作見本市「轆轤の里2026」開催事業	700千円
(4) 山中漆器デザインコンクール事業	100千円
(5) 石川県伝統産業合同見本市開催事業	1,600千円
(6) 山中木地挽物技術保存会運営事業	100千円
(7) 山中漆器木地生産協同組合支援事業	3,341千円
(8) 山中伝漆器後継者育成事業	1,680千円
(9) 国際漆展・石川2026開催事業費	950千円
4 財源内訳	
国（地域未来交付金）	1,670千円
市（過疎対策事業債）	3,600千円
市（山中伝統漆器後継者育成基金繰入金）	1,680千円
市（一般財源）	8,821千円

## 事業イメージ

山中漆器は日本有数の出荷額を誇る産業であり、伝統産業振興や地域経済の活性化を担っている

山中漆器振興推進事業（9事業）



山中漆器の国内外の販路開拓、  
ブランディング、魅力発信、販売促進  
全国での認知度向上



山中漆器産業の振興



地域の活性化



# 山中漆器振興推進事業

## 事業の内容（個別）

### (1) 山中漆器産地振興対策事業 5,000千円

県、国レベルの業界団体が主催する展示会等に参加し、国内外への広報活動や販路拡大を行っている山中漆器産業の活動を総合的に支援する。

- ・年12回展示会に参加予定  
全国漆展、いしかわ伝統工芸フェア、伝統的工芸品展等



### (2) BIGやまなかフェア「山中漆器祭」開催事業 2,300千円

山中漆器の広報宣伝、販売を通じて地域・業界の活性化を目的とした、山中温泉菊の湯で開催する祭りを支援する。

- ・日時 令和8年5月3～4日
- ・会場 山中温泉菊の湯広場
- ・来場者数 約5万人



## 事業の内容（個別）

### (3) 山中木製漆器新作見本市「轆轤の里2026」開催事業 700千円

大型見本市に展示することにより、轆轤の里山中の情報発信と販路拡大を支援する。

- ・会場 東京ビックサイト
- ・参加企業数 約10社
- ・出品点数 約1,000点



### (4) 山中漆器デザインコンクール事業 100千円

加賀市内で学ぶ小学生に地元伝統産業である山中漆器への理解と関心を深めてもらう。

- ・市内全小学校4年生が対象
- ・「山中漆器祭」にて展示

### (5) 石川県伝統産業合同見本市開催事業 1,600千円

国指定伝統的工芸品10業種を中心に石川県伝統産業が合して開催し、新規販路拡大や振興発展を支援する。

- ・日時 令和9年2月
- ・会場 東京都内のコンペティション施設

# 山中漆器振興推進事業

## 事業の内容（個別）

(6) 山中木地挽物技術保存会運営事業 100千円

山中漆器産地に伝承されている木地挽物轆轤技術の保存と向上のため、展示会出展や伝統者養成事業を支援する。

- ・11月に山中漆器産業技術センターにて会員作品展を予定

(7) 山中漆器木地生産協同組合支援事業 3,341千円

現在ある乾燥機が老朽化しており、修理が難しい状況にあるため、乾燥機に代わる乾燥室設置費の一部を支援する。

(8) 山中伝統漆器後継者育成事業 1,680千円

組合に属する事業者で山中漆器製造に係る工程に師事する者を支援する。

- ・1年目5万円/月
- ・2年目4万円/月
- ・3年目3万円/月 計144万円。

- ・継続1名、新規2名見込み



## 事業の内容（個別）

(9) 国際漆展・石川2026開催事業費 950千円

漆の国際公募展として石川県では3年ぶりの開催となり、漆産業の活性化や魅力の再認識してもらうことを目的としている、展示会開催を支援する。

- ・日時 令和8年10月28日～11月9日
- ・会場 石川県政記念しいのき迎賓館
- ・内容 入賞、入選作品約65点



# ほっと石川観光プラン推進ファンド

## 事業の内容

### 【事業の目的】

北陸新幹線県内全線開業に向け、石川県と連携して効果的な情報発信や地域の魅力づくりに取り組んできたこれまでの取り組みを継続・発展させ、石川県成長戦略に掲げる観光誘客目標の達成に資する事業を実施するため、「ほっと石川観光プラン推進ファンド」を延長し、その運用益を活用し観光振興を推進する。

### 【概要】

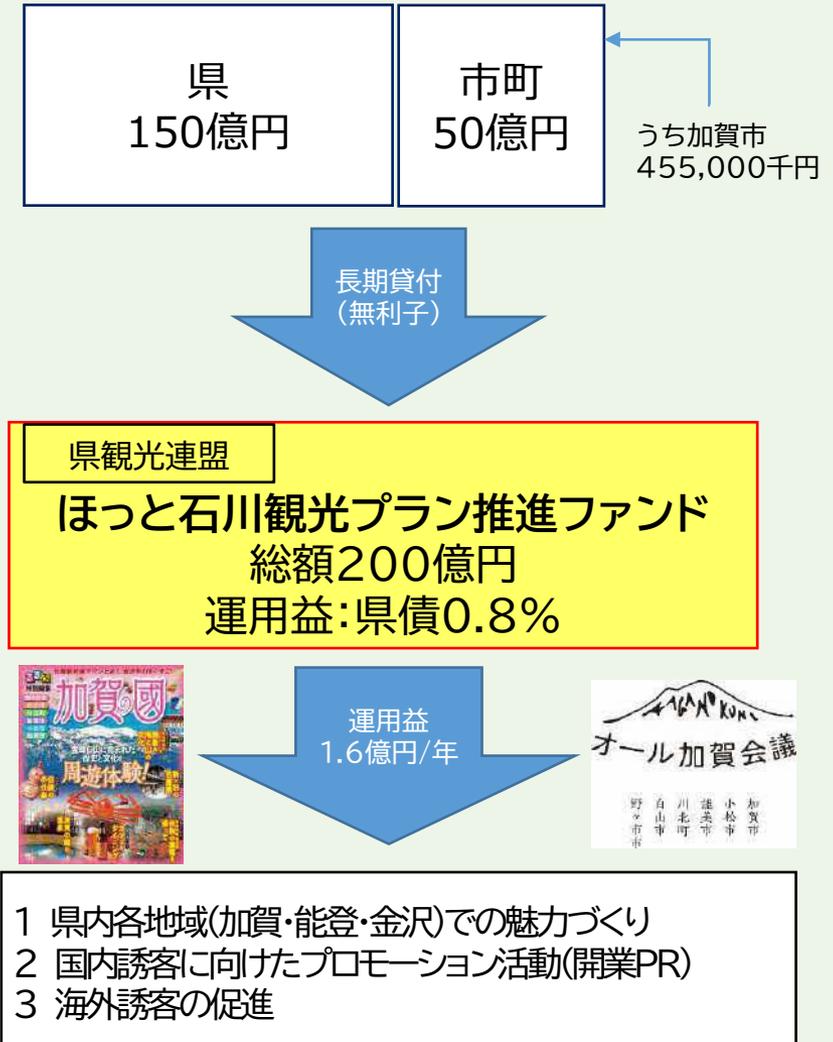
- 1 事業年度 令和8年度～令和12年度
- 2 事業費 455,000千円
- 3 事業内容
  - (1) 石川県観光連盟への貸付金 455,000千円
  - (2) 貸付期間 令和8年9月～令和13年10月（5年間）
  - (3) 運用益
 

200億円×年利0.8%（予定）＝年間1億6千万円×5年間  
 ※年間1.6億円のうち8,500万が加賀地域関連事業

    - 4,500万円 加賀地域の魅力づくりの対策事業として  
オール加賀会議事業費に充当
    - 4,000万円 国内誘客対策（情報発信）事業として  
石川県観光連盟事業費に充当
- 4 財源内訳
 

市（観光振興推進事業債）	455,000千円
--------------	-----------

## 事業イメージ



# インバウンド推進事業

観光課

【予算計上科目：7款 2項 2目中 インバウンド推進費】

## 事業の内容

### 【事業の目的】

国内の観光需要が停滞する中、今後一層の増加が見込まれるインバウンド観光需要を取り込むため、戦略的な事業展開を行うことにより観光消費額の増大を図り、持続可能な観光地の実現に寄与する。

### 【概要】

1 事業年度	令和8年度
2 事業費	8,908千円
3 事業内容	
(1) 外国語ローカルガイド育成事業	2,000千円
(2) インバウンドコンテンツ情報発信事業	1,694千円
(3) 石川県連携インバウンド誘客強化タイアップ事業	3,000千円
(4) 海外情報発信事業	1,500千円
(5) 旅行商談会出展事業及び旅費等	714千円
4 財源内訳	
国（地域未来交付金）	1,847千円
県（能登半島地震復興基金交付金）	3,900千円
市（一般財源）	3,161千円

## 事業イメージ

### 世界から選ばれる 持続可能な温泉観光地

体験コンテンツ高付加価値化のための  
ローカルガイドの育成・活動支援



石川県と連携し加賀への誘客を強化  
(ファミリップ・商談会の開催、海外旅行博への参加等)

海外情報発信  
(ウェブ サイトVist Kagaや金沢市内での情報発信)



海外向け観光事業者との旅行商談会への参加



# 新たな農業人材による産地活性化事業

## 事業の内容

### 【事業の目的】

後継者不足により衰退の危機にある産地を活性化するために移住希望者を農業分野の地域おこし協力隊制度を活用し、担い手を必要とする産地に派遣することで、新たな農業人材を育成し農地の荒廃を防ぐことで地域農業の振興を図る。

### 【概要】

- 1 事業年度 令和8年度
- 2 事業費 45,760千円
- 3 事業内容
  - (1) 協力隊マネジメント業務委託 45,760千円
    - 継続 @4,160千円×7人
    - 新規 @4,160千円×4人
- 4 財源内訳
  - 市（一般財源） 45,760千円

## 事業イメージ

### ●地域おこし協力隊制度を活用した産地活性化



### ●地域おこし協力隊の活動状況

委嘱年度	人数（内訳）	活動地区	活動内容
R6年度	7名	(3名) 奥谷	梨産地の継承
		(2名) 小塩辻	梨産地の継承
		(2名) 豊	規格外農産物の利用促進
R7年度	0名		—
R8年度	4名	(3名) 小塩辻	梨産地の継承（予定）
		(1名) 豊	規格外農産物の利用促進（予定）



35 農業者として独立に向け活動



広報で特集記事を掲載



加賀パフェの企画開発

# 道路照明灯LED化事業

## 事業の内容

### 【事業の目的】

道路照明灯のLED化により、維持管理コスト（電気使用量、灯具取替）の縮減並びにCO2排出ガス削減の環境負荷の低減を図るとともに、経年劣化する道路照明灯の計画的な修繕・更新を実施する。

### 【概要】

- 1 事業年度 令和6年度～令和9年度
- 2 総事業費 409,700千円
- 3 完成予定 令和10年3月
- 4 全体計画
  - (1) 道路照明灯基数 752基（うち対応済143基）
  - (2) 更新計画及び実績基数
    - 令和6年度 194基
    - 令和7年度 180基
    - 令和8年度 110基
    - 令和9年度 125基 合計 609基

### 【令和8年度 事業の概要】

- 1 事業費 102,400千円
- 2 事業内容
  - (1) 道路照明灯LED化 N=110基 102,400千円
- 3 財源内訳
  - 市（緊急自然災害防止対策事業債） 102,400千円

## 事業イメージ



【写真1】 道路照明灯(既存)



【写真2】 道路照明灯(LED化)

# アスファルト舗装事業

【予算計上科目：8款 2項 3目中 一般道路新設改良費（補助・単独）  
・特定防衛施設周辺整備調整交付金事業費】

## 事業の内容

### 【事業の目的】

老朽化が進み、わだち・ひび割れにより車両通行時の振動・騒音、降雨時の水跳ね等、支障をきたしている路線のアスファルト舗装による改良を実施し、沿道の環境改善を図るとともに、車両通行時と歩行者への安全を確保する。

（本資料は主な道路整備事業の抜粋）

### 【概要】

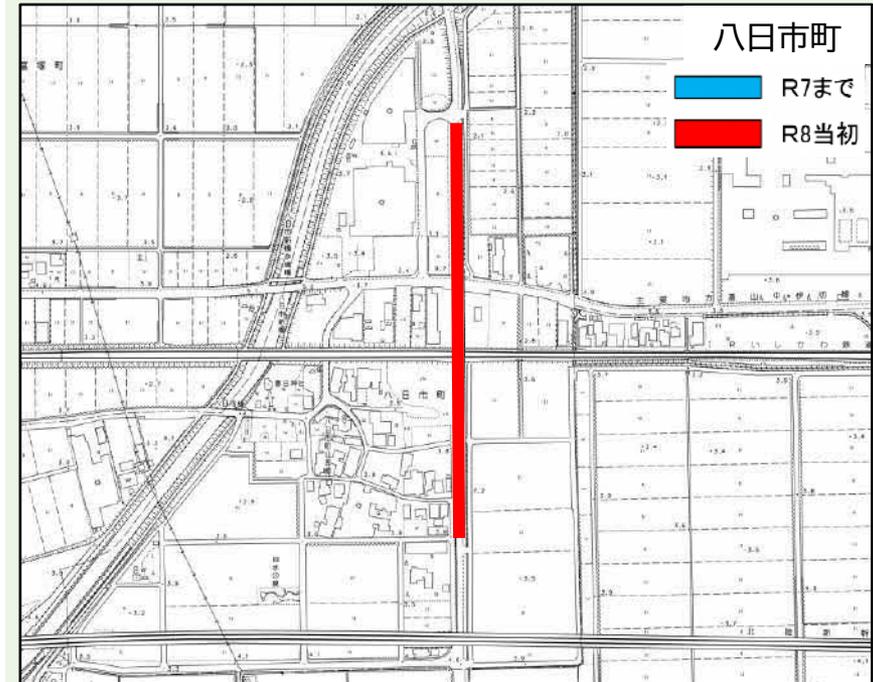
- 1 事業年度 事業イメージのとおり
- 2 事業費 170,000千円
- 3 事業内容

(1) アスファルト舗装工事

#### 4 財源内訳

国（再編関連訓練移転等交付金）	24,000千円
国（特定防衛施設周辺整備調整交付金）	88,000千円
市（公共施設適正管理推進事業債）	27,000千円
市（一般補助施設整備事業債）	16,500千円
市（一般財源）	14,500千円

## 事業イメージ



### 再編関連訓練移転等交付金事業

市道C第577号線

(1)事業年度 令和8年度～10年度

(2)令和8年度工事費 30,000千円

(3)工事内容

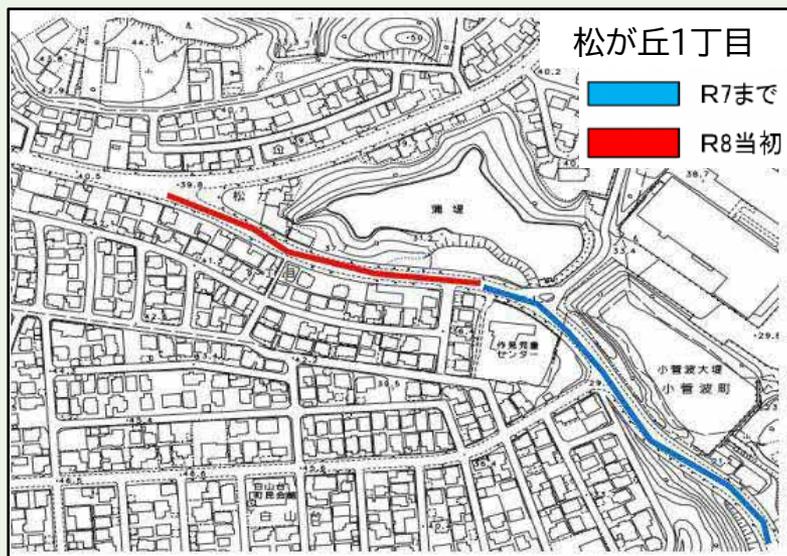
アスファルト舗装工事

A=1,600m<sup>2</sup>

(L=160m、W=10.0m)

# アスファルト舗装事業

## 事業の内容



### 公共施設適正管理推進事業

#### 市道C第269号線

- (1) 令和7年度～8年度
- (2) 令和8年度工事費 30,000千円
- (3) 工事内容

#### アスファルト舗装工事

A=3,400m<sup>2</sup>

(L=210m、W=7.0m)

## 事業イメージ



### 特定防衛施設周辺整備調整交付金事業

#### 市道C第55号線

- (1) 令和6年度～令和11年度
- (2) 令和8年度工事費 110,000千円
- (3) 工事内容

#### アスファルト舗装工事

A=7,300m<sup>2</sup>

(L=900m、W=8.5m)

# 橋梁長寿命化対策事業（点検・修繕）

## 事業の内容

### 【事業の目的】

法定点検結果に基づき作成された加賀市橋梁長寿命化修繕計画により健全度判定区分Ⅲ(道路橋の機能に支障が生じる可能性があり、早期に措置を講ずべき状態)以上の橋梁について第三者被害の防止・円滑な交通を確保するため修繕を実施し、橋梁の長寿命化を図る。

### 【概要】

- 1 事業年度 平成27年度～令和8年度
- 2 総事業費 2,581,429千円(点検・修繕)  
※H27～R8年度事業費

### 【令和8年度 事業の概要】

- 1 事業費 399,450千円
- 2 事業内容
  - (1) 橋梁点検 (N=42橋) 65,000千円
  - (2) 橋梁修繕 (N= 3橋) 324,450千円
    - (平岩橋 (山中温泉菅谷町) 294,000千円)
    - (高野橋 (熊坂町) 10,500千円)
    - (天神橋 (田尻町) 5,250千円)
    - (事務費 14,700千円)
  - (3) 道路施設点検 (ｼｬｯﾄﾞ: N=2基 横断歩道橋: N=2橋) 10,000千円
    - (敷地洞門、大内スノーシェッド 7,000千円)
    - (山中分署前・山代小学校前歩道橋 3,000千円)

## 事業イメージ

### 3 財源内訳

国(道路更新防災等対策事業費補助金)	203,500千円
市(公共事業等債 過疎対策事業債 地方道路等整備事業債)	161,300千円
市(一般財源)	34,650千円

### 【修繕橋梁数】

- (1) 対策済 平成27年度～令和6年度  
23橋 (令和7年3月末現在)
- (2) 健全度 Ⅲ 早期措置段階 21橋 (令和7年3月末現在)

### 【橋梁修繕箇所】

市道D第214号線(平岩橋)橋梁修繕工事(道路メンテナンス)



# 市道C第461号線 道路災害復旧事業 (柴山町地内)

土木課

【予算計上科目：11款 2項 1目中  
過年災害復旧費（補助）】

## 事業の内容

### 【事業の目的】

令和6年1月1日に発生した令和6年能登半島地震により、市内の多数市道が損傷し、市道C第461号線（柴山町地内）が被災したため、災害復旧工事を行い、道路交通の安全を図る。

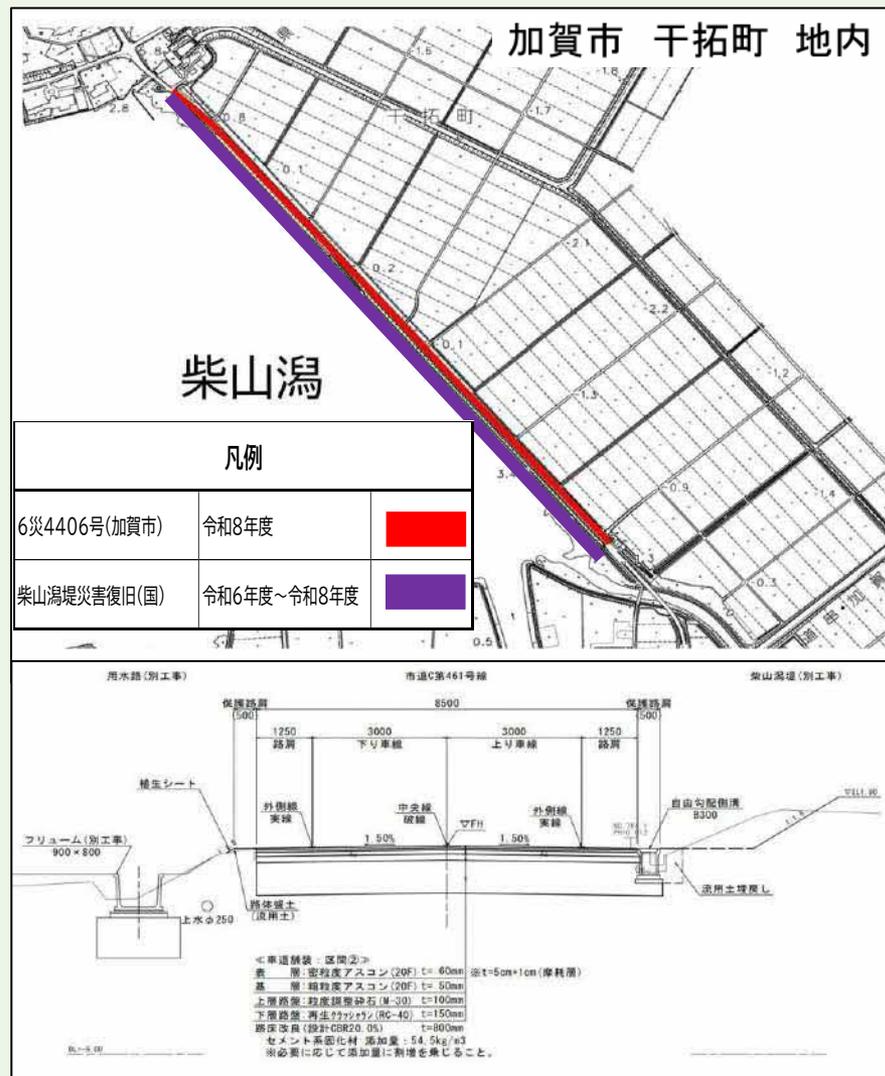
### 【概要】

- 1 事業年度 令和6年度～令和8年度
- 2 総事業費 330,955千円
- 3 完成予定 令和9年3月

### 【令和8年度 事業の概要】

- 1 事業費 296,800千円
- 2 事業内容
  - (1) 道路災害復旧工事 L=1315.5m 280,000千円  
(土木工事 145,000千円)  
(舗装工事 135,000千円)
  - (2) 事務費(工事雑費、事務費) 16,800千円
- 3 財源内訳
  - 国（公共土木施設災害復旧事業費国庫負担金 0.677） 189,560千円
  - 市（災害復旧事業債） 107,200千円
  - 市（一般財源） 40千円

## 事業イメージ



# 柴山潟周辺整備事業

## 事業の内容

### 【事業の目的】

柴山潟の水辺空間と白山眺望を重要な観光資源と捉え、「柴山潟遊歩」による一体的な景観観光の整備により、温泉街の魅力向上を図る。

柴山潟周辺土地整備は、眺望景観の保全を第一に、防災機能を有した（仮称）柴山潟公園を整備するとともに、隣接する湖畔公園を拡張し柴山潟に接した拠点施設を整備し、湖岸遊歩道と結ぶことにより誘客を図る。

### 【概要】

- 1 事業年度 平成29年度～令和13年度
- 2 総事業費 1,764,572千円
- 3 完成予定 令和14年3月

### 【令和8年度 事業の概要】

- 1 事業費 27,539千円
- 2 事業内容 柴山潟周辺土地整備
  - (1) 柴山潟公園整備 造成工事費 24,827千円
  - (2) 柴山潟湖岸遊歩道 波受け板設置工事費 2,200千円
  - (3) 事務費 512千円
- 3 財源内訳
  - 国（防衛8条補助金 工事6/10） 15,140千円
  - 市（一般補助施設整備等事業債） 7,500千円
  - 市（地域活性化事業債） 1,900千円
  - 市（一般財源） 2,999千円

## 事業イメージ



### 平面図



# 大聖寺歴史的街なみ整備事業

## 事業の内容

### 【事業の目的】

歴史的風致維持向上計画の重点区域において、国指定の重要文化財「長流亭」に近接している「錦城山公園」「江沼神社庭園」や周辺散策路等の整備、歴史的建造物の修理・修景に関する事業を推進し、歴史的風致の維持向上および観光誘客の強化を図る。

### 【概要】

- 1 事業年度 令和4年度～令和13年度
- 2 総事業費 323,195千円
- 3 完成予定 令和14年3月

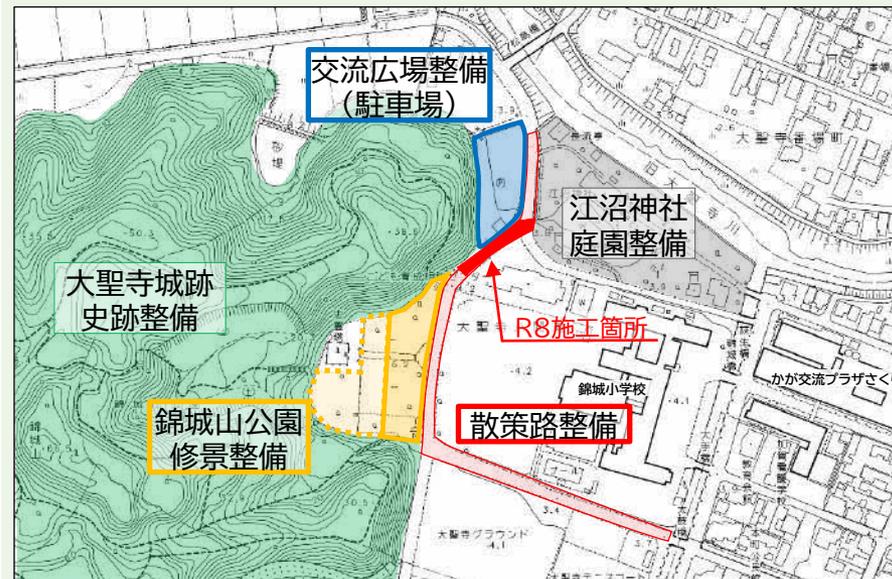
### 【令和8年度 事業の概要】

- 1 事業費 15,561千円
- 2 事業内容
  - (1) 散策路整備工事費 13,190千円
  - (2) 歴史的風致維持向上計画変更業務委託費 1,000千円
  - (3) 事務費 1,371千円
- 3 財源内訳
 

国（社会資本整備総合交付金 1/2）	6,500千円
市（景観整備事業債）	6,500千円
市（一般財源）	2,561千円

## 事業イメージ

### 【街なみ環境整備事業 整備方針図】



### 【散策路整備イメージ】



# 物価高騰対応 水道料金基本料金免除事業

経営管理課・財政課

【予算計上科目：1款 1項 1目中 給水収益  
1款 1項 4目中 業務費】  
(一般会計) 13款 3項 1目中 水道事業繰出金】

## 事業の内容

### 【事業の目的】

物価高騰の影響を受けている市民や事業者を支援するため、現在実施中である水道料金の基本料金免除（無償化）期間を令和8年8月請求分（7月検針分）まで延長する。

### 【概要】

- 1 事業年度 令和7年度～令和8年度
- 2 総事業費 550,680千円  
(石川県水道基本料金無償化特別交付金、一般会計負担金)

### 【令和8年度の概要】

- 1 事業費 330,660千円
- 2 事業内容
  - (1) 基本料金免除相当総額 323,500千円
  - (2) システム改修等委託費 6,800千円
  - (3) 諸経費 360千円
- 3 財源内訳
 

県（水道基本料金無償化特別交付金）	176,880千円
市（一般会計負担金）	153,780千円
市（給水収益）	△323,500千円

## 事業イメージ

### 1. 対象期間

令和8年4月（3月検針分）から令和8年8月（7月検針分）請求分の5か月分

- ・ 県交付金を活用した期間：4月から6月までの3ヵ月分
- ・ 加賀市による期間：7月から8月までの2ヵ月分  
なお30mm以上の家庭用・業務用水道については4月から8月までの5ヵ月分を加賀市の独自事業として対象とする

### 2. 免除対象となる口径および基本料金

家庭用（集合住宅含む）及び業務用の全ての水道料金の基本料金

口径（ミリ）	1か月あたりの基本料金 （消費税込：円）
13	1,144
20	2,530
25	3,740
30	8,360
40	10,670
50	17,600
75	39,050
100	63,250

### 3. 対象件数 約26,200件

（家庭用 約23,580件、業務用 約 2,620件）

本事業は、給水契約に基づき対象とするため、申込み手続等は不要。

# 管路耐震化事業

## 事業の内容

### 【事業の目的】

漏水の原因となっている老朽管の耐震性のある水道管への更新を加速し、安全な水道水の安定供給を図る。

なお、石綿管の更新は令和5年度に完了したことから、今後はビニル管を中心に更新し、またダウンサイジング等のコスト縮減に努め、強靱かつ合理的な管網を構築する。

### 【概要】

- 1 事業年度 平成29年度～令和9年度（今期事業計画分）
- 2 総事業費 1,565,148千円
- 3 完成予定 令和9年度末

### 【令和8年度 事業の概要】

- 1 事業費 674,300千円
- 2 事業内容
  - (1) 委託費(配水管設計) 15,246千円
  - (2) 更新事業費 474,850千円
  - (3) 舗装本復旧費 148,902千円
  - (4) 事務費 35,302千円
- 3 財源内訳
  - 市（水道企業債） 646,200千円
  - 負担金 28,050千円
  - 水道事業会計（内部留保資金） 50千円

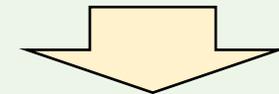
## 事業イメージ

工事箇所 黒崎町外

老朽管（ビニル管）



老朽管（鋼管）



耐震型  
ダクタイル鋳鉄管



# 下水道処理施設の統合事業

## 事業の内容

### 【事業の目的】

更新時期を向かえた加賀市浄化センターを廃止し、二つの処理場を統合することで、円滑な下水道処理を行い、下水道経営の効率化を図る。

### 【概要】

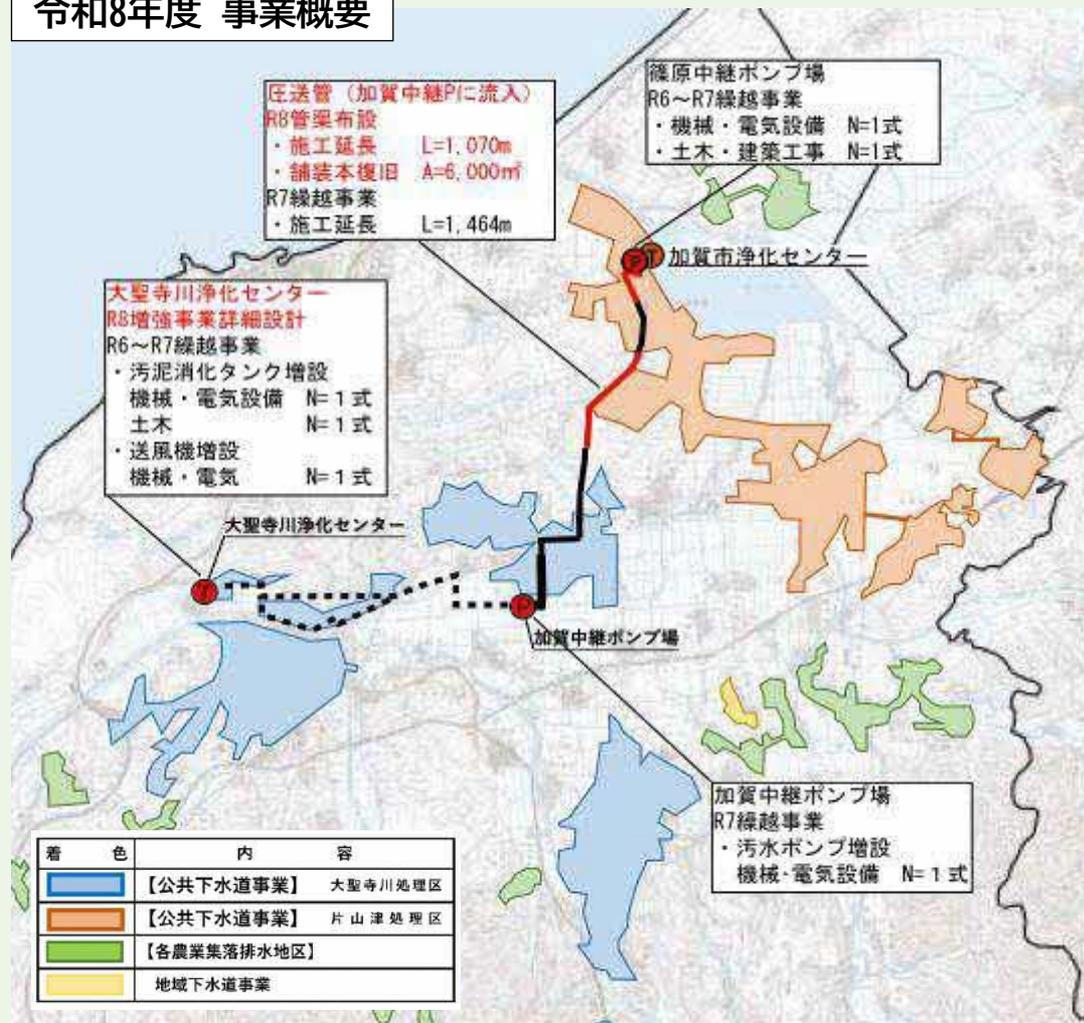
- 1 事業年度 令和4年度～令和8年度
- 2 総事業費 6,100,000千円
- 3 完成予定 令和8年度末

### 【令和8年度 事業の概要】

- 1 事業費 305,600千円
- 2 事業内容
  - (1) 管渠（圧送管）整備事業 281,600千円
  - (2) 大聖寺川浄化センター等増強事業 24,000千円
- 3 財源内訳
  - 国（社会資本整備総合交付金1/2） 152,800千円
  - 市（下水道企業債） 152,800千円

## 事業イメージ

### 令和8年度 事業概要



# 下水道処理施設の統合事業

## (1) 管渠（圧送管）整備事業

### 事業の内容

#### 【事業の目的】

下水道処理施設を統合するための事業であり、片山津処理区で集められた汚水を送るための管渠整備である。令和5年度から建設を進める篠原中継ポンプ場と作見町に埋設されている作見第1幹線までを圧送管路で整備するものである。

#### 【概要】

1 事業年度	令和4年度～令和8年度
2 総事業費	1,000,000千円
3 完成予定	令和8年度末

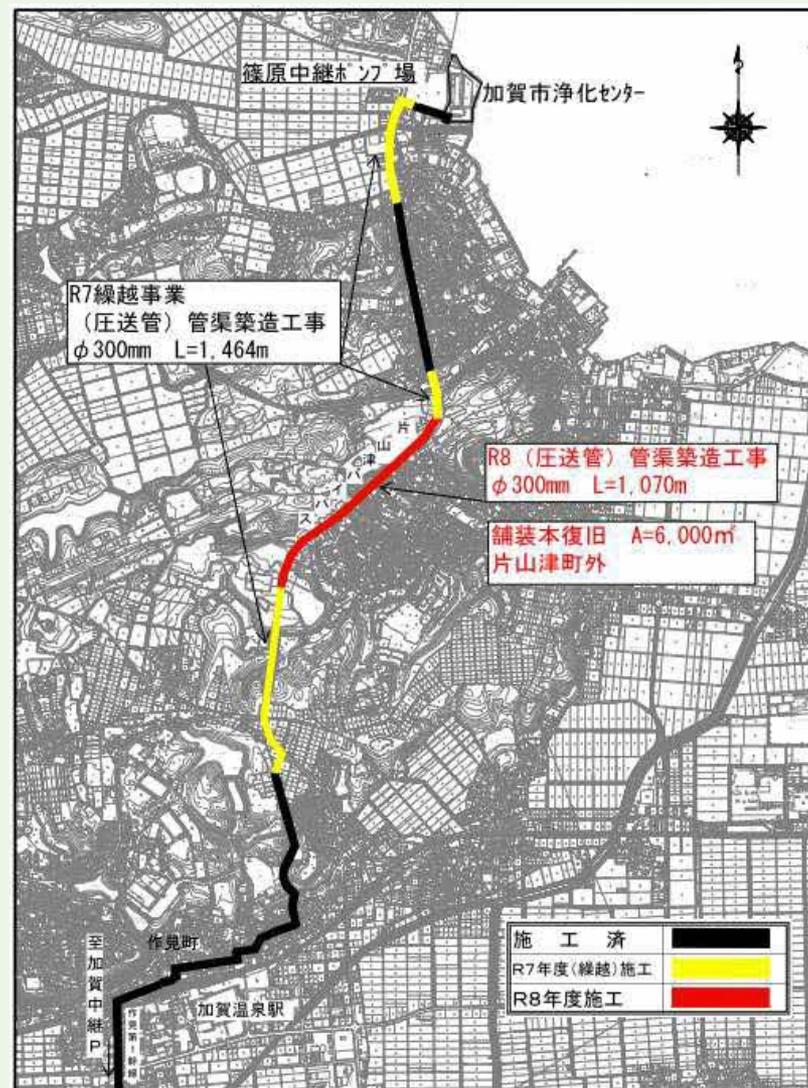
#### 【令和8年度 事業の概要】

1 事業費	281,600千円
2 事業内容	
(1) 路面復旧費	135,000千円
(3) 工事請負費	145,000千円
(4) 補償費	1,600千円
3 財源内訳	
国（社会資本整備総合交付金1/2）	
140,800千円	
市（下水道企業債）	140,800千円

下水道課

【予算計上科目：2款 1項 1目中 汚水管渠建設費】

### 事業イメージ





# 消防本部非常用発電設備更新事業 及び訓練塔整備事業

消防総務課

【予算計上科目：9款 1項 3目中 庁舎等施設整備費】

## 事業の内容

### 【事業の目的】

防災拠点である消防本部庁舎（非常用発電設備、訓練塔）の機能維持と強化を図ることで、近年頻発している多種多様な災害の対応力を強固にし、被害の軽減及び早期鎮圧をもって市民の安心安全を確保する。

### 【概要】

- 1 事業年度 令和7年度～令和10年度
- 2 総事業費 171,238千円
- 3 完成予定 令和10年8月

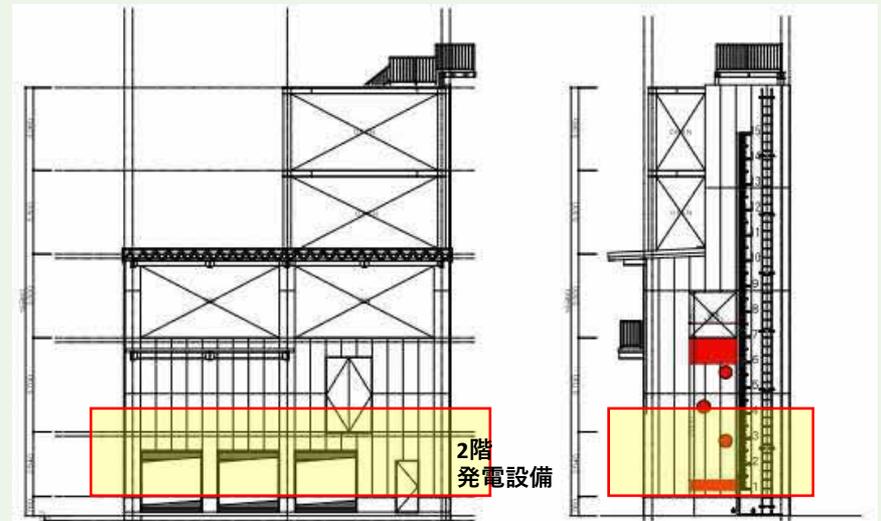
### 【令和8年度 事業の概要】

- 1 事業費 17,400千円
- 2 事業内容
  - (1) 実施設計業務委託費 17,100千円
  - (2) 事務費 300千円
- 3 財源内訳
  - 市（緊急防災・減災事業債） 10,800千円
    - ・非常用発電設備分（施設 按分：62%）
  - 市（防災対策事業債） 4,900千円
    - ・訓練塔分（施設 按分：38%）
  - 市（一般財源） 1,700千円

## 事業イメージ

### ◇事業スケジュール

- ・ R7年度 既存調査業務  
基本設計業務  
(災害対策基金繰入金100%充当)
- ・ **R8年度 実施設計業務**
- ・ R9～10年度 工事、管理業務



訓練塔の2階に非常用発電設備が入る併設施設。

※非常用発電機は、製造から25年経過。（浸水想定区域）  
訓練塔は約46年経過。老朽化が著しく、隊員が安全に訓練できない。強い地震の発生によっては倒壊の危険性がある。

# 消防本部庁舎改修事業

## 事業の内容

### 【事業の目的】

消防本部庁舎は女性が働く上で現状、設備が充分ではない。女性消防職員が働きやすい職場環境を整え、就業環境の改善に繋げる。また、緊急消防援助隊の受援時の宿営場所のひとつとして位置づけており、応援隊が迅速かつ効果的に活動できる体制も確保しつつ、防災拠点としての機能維持及び強化を図り、市民の安心安全を確保する。

### 【概 要】

- |        |             |
|--------|-------------|
| 1 事業年度 | 令和7年度～令和8年度 |
| 2 総事業費 | 52,277千円    |
| 3 完成予定 | 令和9年3月      |

### 【令和8年度 事業の概要】

- |                 |          |
|-----------------|----------|
| 1 事業費           | 50,100千円 |
| 2 事業内容          |          |
| (1) 消防本部庁舎改修工事費 | 48,900千円 |
| (2) 事務費         | 1,200千円  |
| 3 財源内訳          |          |
| 市（緊急防災・減債事業債）   | 50,100千円 |

## 事業イメージ

### 【改修内容】

- ・女性用仮眠室の改修
- ・女性用トイレ、更衣室の設置
- ・会議室の改修
- ・空調設備の改修

### 【事業スケジュール】

- |        |               |
|--------|---------------|
| ・令和7年度 | 実施計画、空調設備改修工事 |
| ・令和8年度 | 改修工事、管理業務     |

### 【事業イメージ】

仮眠室



トイレ



# 教育ビジョン推進事業

教育委員会

## 事業全体の内容

### 【事業の目的】

これまで「BE THE PLAYER」をスローガンに教育改革を進め、子どもたちが自ら考え、動き、生み出すことを目指した授業づくりを行ってきた。その方向性をそのままに、学びを更に進化させ、子どもの「今」と「未来」をもっと幸せにするための次なる挑戦を行う。

### 【概要】

1 事業年度 令和8年度～令和12年度

### 【令和8年度 事業の概要】

1 総事業費 189,778千円

2 事業内容

- |                  |          |
|------------------|----------|
| (1) 自律した学びを育てる事業 | 94,459千円 |
| (2) 誰一人取り残さない事業  | 79,588千円 |
| (3) 地域・保護者と一緒に事業 | 4,743千円  |
| (4) 先生も幸せに事業     | 10,988千円 |
- (個別事業の内容を参照)

3 財源内訳

国（交付金・補助金）	16,073千円
県（補助金）	9,860千円
その他（助成金）	1,500千円
市（繰入金）	4,605千円
市（一般財源）	157,740千円

## 事業全体のイメージ

加賀市教育ビジョン

「BE THE PLAYER」

「自分のペースで自分で学ぶ」

「学び合って、助け合って、共に学ぶ」

を継続して実施



# (1) 自律した学び手を育てる事業

## 事業の内容（個別）

### 【事業の目的】

生涯にわたって自律した学び手を育てるため、学校教育ビジョン2023-2025から引き続き、学校と教育委員会がワンチームで子どもが主役の授業づくりに取り組む。

また、「デザイン」の思考法を取り入れ、さらに創造的な学校づくりや放課後改革を行うことで、自立した学び手を育てる環境を整備する。

### 【事業概要】

1 事業費 94,459千円

#### 2 事業内容

##### (1) 「自分で考え 動く 生み出す」学校づくり

- ・学校・教師の伴走支援費 14,965千円
- ・「デザイン」思考による学校環境改善 900千円
- ・教育開発室研究部会開催費 162千円

##### (2) STEAM Education 2.0

- ・STEAM教育推進費 6,683千円  
(授業支援、STEAM FES開催など)
- ・情報モラル教育推進事業 1,527千円

##### (3) 部活動の在り方改革

- ・学校部活動改革地域クラブ 運営事業
- 運動部 45,420千円
- 文化部 24,802千円

## 事業の内容（個別）

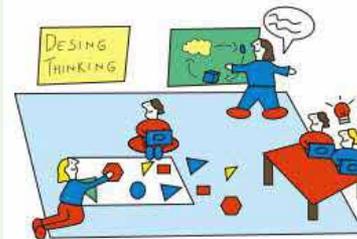
### 3 財源内訳

国（部活動の地域展開事業費補助金 1/3）	9,364千円
国（地域未来交付金 1/2）	4,605千円
県（部活動の地域展開事業費補助金 1/3）	9,364千円
その他（（公財）スポーツ安全協会助成金）	1,500千円
市（重点事業推進基金繰入金）	4,605千円
市（一般財源）	65,021千円

#### Project 1

「自分で考え 動く 生み出す」学校づくり

子どもが主役の授業づくり、「デザイン」の思考法も取り入れた更に創造的な学校づくりに取り組みます。



#### Project 2

STEAM Education 2.0

STEAM の学びを、「地域」も一つの軸として更に充実させ、子どもたちのワクワクと課題発見・解決力を育みます。



KAGA STEAM FES 2025



部活動の地域展開の様子

## (2) 誰一人取り残さない事業

### 事業の内容（個別）

#### 【事業の目的】

「それぞれのペースで、でもみんなで取り組める」活動をもっと増やし、不登校や発達上の支援を要する子ども、一斉型の授業が難しすぎる・簡単すぎる子どもなど、多様な子どもによりきめ細やかな支援をより早く届けることで、誰一人取り残さない環境を整備する。

#### 【事業概要】

1 事業費 79,588千円

2 事業内容

(1) ユニバーサルデザインの学校づくり

- ・子どもも教員も使いやすいAIドリル導入 4,926千円
- ・「デザイン」思考による学校環境改善(再掲) 900千円

(2) 不登校と向き合う

- ・校内サポートルーム(SSR)全校配置費 47,216千円
- ・不登校支援委託費(伴走型コンサル等) 15,851千円
- ・チャット相談委託費 7,437千円
- ・ヤングケアラー支援事業費 4,158千円

3 財源内訳

国(不登校児童生徒等支援事業費補助金) 1,092千円

国(児童虐待防止対策等総合支援事業費補助金) 1,012千円

市(一般財源) 77,484千円

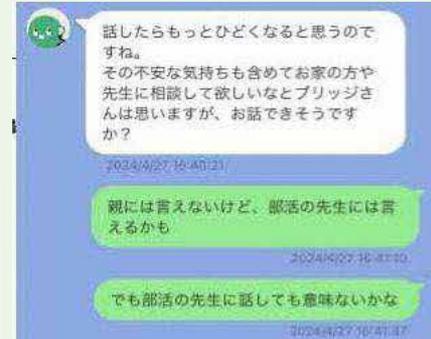
### 事業の内容（個別）



不登校支援プランに基づく施策の展開



校内サポートルーム(SSR)の全校配置



一人一台端末を活用したチャット相談

## (3) 地域・保護者と一緒に事業

### 事業の内容（個別）

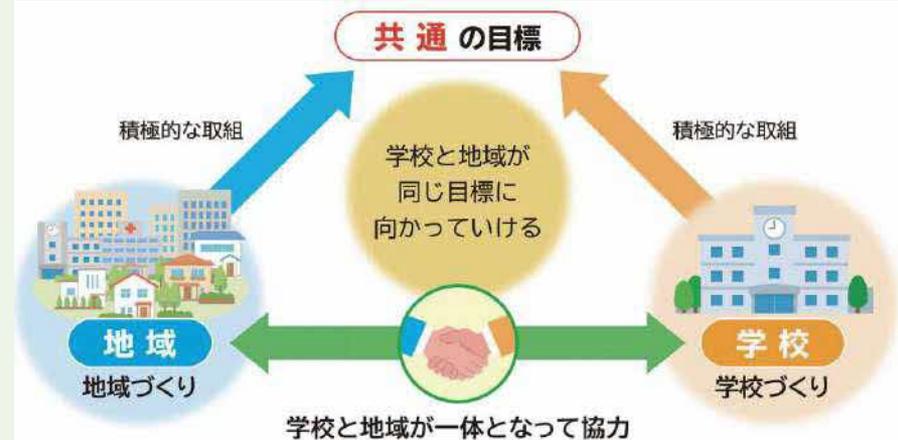
#### 【事業の目的】

主体的・対話的で深いふりさと学習の在り方や学校の配置・規模のあり方など、地域・保護者の声を効率的に把握する環境を整備し、「みんな」で同じ方向を目指した事業を進める。

#### 【事業概要】

- 1 事業費 4,743千円
- 2 事業内容
  - (1) 地域・保護者との協働と支援
    - ・コミュニティ・スクール（CS）活性化 1,903千円  
（CS委員謝金・研修会講師謝金・旅費、消耗品）
    - ・保護者連絡等のペーパーレス化・効率化 2,244千円  
（保護者連絡ツール利用料）
    - ・学校の配置・規模のあり方の検討 596千円
- 3 財源内訳
  - 県（地域と学校の連携協働体制構築事業費補助金） 496千円
  - 市（一般財源） 4,247千円

### 事業の内容（個別）



#### ● 地域・保護者と一緒に

学校、家庭、地域「みんな」で同じ方向を目指します

#### Project 6

#### 地域・保護者との協働と支援

「コミュニティ・スクール」の更なる活性化や、各プロジェクトの進捗等に関する地域・保護者との意見交換の機会の増加などに取り組みます。学校の配置及び施設の在り方の検討も進めます。



## (4) 先生も幸せに事業

### 事業の内容（個別）

#### 【事業の目的】

先生が子どもの教育に向き合う幸せ、家族や自分の大切な時間を過ごす幸せの両方を追求し、学校が子どもにも先生にもいい影響がある場所を目指し、教職員等の働き方改革を推進する。

#### 【事業概要】

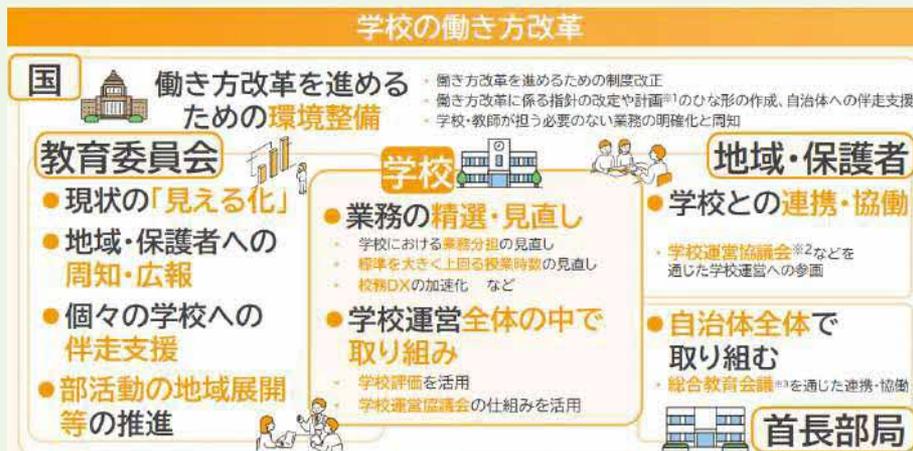
- |                      |          |
|----------------------|----------|
| 1 事業費                | 10,988千円 |
| 2 事業内容               |          |
| (1) 業務量管理・健康確保措置実施計画 |          |
| ・通話録音装置の設置(全校)       | 2,731千円  |
| ・書写担当講師等の派遣          | 7,646千円  |
| ・自動採点システムの活用         | 611千円    |
| 3 財源内訳               |          |
| 市（一般財源）              | 10,988千円 |

学校指導課・教育総務課  
 【予算計上科目：10款 1項 3目中 教育ビジョン推進費・学校教育研究費  
 10款2項2目中 指導体制支援費】

### 事業の内容（個別）

給特法に基づく

「業務量管理・健康確保措置実施計画」を策定



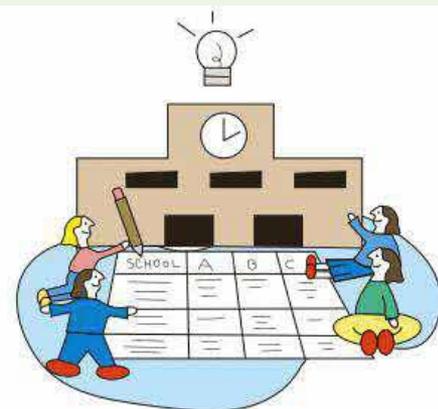
#### ● 先生も幸せに

子どもの「今」も「未来」も幸せにする、そんな教育に向き合う幸せ。そして家族や自分限りの大切な時間を過ごす幸せ。両方がのびのびと追求できて子どもにもいい影響がある、学校をそんな職場にしていきます

#### Project 7

#### 業務量管理・健康確保措置実施計画の実行

「業務量管理・健康確保措置実施計画」を着実に実行し、業務改善、学校組織の心理的安全性の向上などを進めます。



# 教育ビジョン推進事業

## (1) 自律した学び手を育てる事業

### 部活動の在り方改革(再掲)

# 地域学び・スポーツ課

【予算計上科目：

10款 5項 2目中 部活動地域展開推進費（文化部）

10款 6項 5目中 部活動地域展開推進費（運動部）】

## 事業全体の内容

### 【事業の目的】

急激な少子化が進む中でも、将来にわたって子どもたちがスポーツや文化活動に継続して親しむことができる機会を確保・充実する。

また、これまでと同じような平日の放課後活動を続けるためには、新しい仕組みを作ることが必要であり、放課後活動を子どもたち自らの興味関心に応じて主体的に活動し、心身ともに成長し続けるための学びの場へと転換を図る。

更に、一般社団法人を設立し、部活動地域クラブの運営の安定化や指導者などの人材の確保・育成等のほか、外部資源を活用した財政面の基盤強化を図る。

### 【令和8年度 事業の概要】

1 事業年度 令和8年度～令和12年度

2 総事業費 70,222千円

3 事業内容

- (1) 部活動改革地域クラブ運営事業費 47,376千円
  - (2) 地域協働ブランディング事業費 4,044千円
  - (3) 「KAGA STEAM Lab」運営事業費 18,802千円
- (個別事業の内容を参照)

## 事業全体のイメージ

### 4 財源内訳

国（部活動の地域展開事業費補助金 1/3）	9,364千円
国（地域未来交付金 1/2）	4,605千円
県（部活動の地域展開事業費補助金 1/3）	9,364千円
その他（（公財）スポーツ安全協会助成金）	1,500千円
市（重点事業推進基金繰入金）	4,605千円
市（一般財源）	40,784千円

#### Project 3

#### 部活動の在り方改革

「マルチスポーツ」の考え方を基軸に、平日の部活動のグラウンドデザインを描き、子ども主体の学びの場を広げます。



# 部活動の在り方改革(再掲)

## 事業全体の内容(個別)

### (1) 部活動改革地域クラブ運営事業費

#### 【事業の目的】

一般社団法人を創設し、部活動地域クラブの運営の安定化や指導者などの人材の確保・育成等の指導体制の構築を図る。また、競技力向上や多様な個性に対応する「加賀の放課後の学び」を確立するとともに、多世代交流を促進する。人口減少下でも持続可能な、民間の活力を活かした地域教育モデルへと転換を図る。

- 1 事業費 47,376千円
- 2 事業内容
  - (1) 地域クラブ活動費(8運動部、吹奏楽部) 21,787千円
  - (2) 法人運営費 20,589千円
  - (3) 地域おこし協力隊活動費(1名) 5,000千円

### (2) 地域協働ブランディング事業費

#### 【事業の目的】

地域の多様なステークホルダーによる検討体制構築し、地域の実情を反映した実効性の高い、部活動改革の方針を示す計画を策定し、地域へ浸透・理解を図る。

- 1 事業費 4,044千円
- 2 事業内容
  - (1) ビジョン検討会開催 3,044千円
  - (2) 資料作成等 1,000千円

## 事業イメージ

### 「子ども主体の部活動」に向けた地域協働のコンセプトメイキング

地域展開の意義をステークホルダーと検討し、成果と関係者の「想い」を広く発信。活動への共感を生み出し、協力の輪を広げる。  
 <以下のコンセプトイメージをたたき台として議論>

月 火 水 木 金	土	月 火 水 木 金	土
野球	野球	子ども主体の 様々なスポーツ ・文化芸術活動	野球
ソフトテニス	—		—
吹奏楽	バレエ		バレエ

#### 今回の事業



#### 地域主体の基盤構築

多様な地域の意見の反映が不可欠



#### ビジョン検討会の実施

地域展開の意義をステークホルダーと検討し、人口減少社会において「子ども主体の部活動」の在り方について再構築する。



#### 成果物の作成

検討会の成果を、リーフレット、説明資料等でわかりやすく可視化する。  
 成果物を広く共有し、「地域全体で子どもを育む」という共通認識を醸成する。

「共感」が「支援」に繋がる。



#### 将来的な成果



#### 持続可能な活動基盤の確立



#### 地域の理解・共感の醸成

- 具体的な協力・応援者の増加
- ・指導者・運営者の増加(地域人材)
  - ・施設・場所の利用協力(学校・地区)
  - ・保護者の協力(自助の精神涵養)



#### 持続的な財政基盤の構築

- ※不安定な寄付、単年度予算から脱却が必要
- ・ふるさと納税等の寄付等
  - ・受益者負担

# 部活動の在り方改革(再掲)

## 事業の内容

### (3)「KAGA STEAM Lab」運営事業費

#### 【事業の目的】

学校でのSTEAM教育をさらに発展させ、次世代を担う子どもたちが主体的に探究し、創造する学びの拠点として「KAGA STEAM Lab」を展開する。デジタル機器や生成AIを活用した実践的な体験活動を通じ、課題解決力や想像力の育成を図る。

専門領域：生成AI・情報メディア・アート&デザイン・  
ロボット操作・ゲーム制作・映像音楽制作等

場 所：かが交流プラザさくら3階

対 象：小学4年生～高校3年生

#### 【概 要】

1 事業費	18,802千円
2 事業内容	
(1) STEAM部(KAGA STEAM Lab)運営費	9,210千円
(2) 地域おこし協力隊活動費(2名)	9,592千円
3 財源内訳	
国(地域未来交付金 1/2)	4,605千円
市(重点事業推進基金繰入金)	4,605千円
市(一般財源：地方交付税措置あり)	9,592千円

## 事業イメージ

#### 【活動内容の強化】

子どもの活動時間の**拡充**

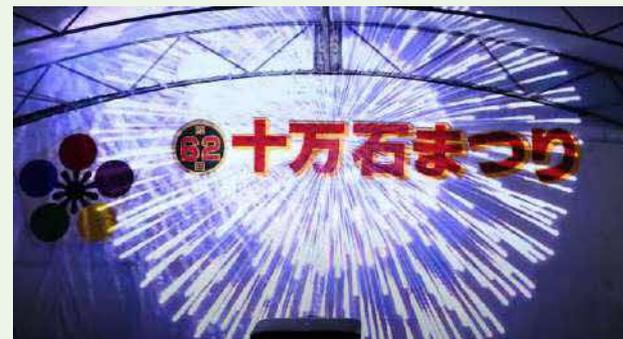
(R7) 週9時間⇒(R8) 週20時間

#### 【活動例】

PC等を活用した探究活動 (NEW) アプリ作成(AI)



プロジェクションマッピング(子どもの成果)



# 小中学校施設整備事業

【予算計上科目：10款 2項 3目中 校舎等整備費】  
 【予算計上科目：10款 2項 3目中 体育館整備費】  
 【予算計上科目：10款 3項 3目中 校舎等整備費】

## 事業の内容

### 【事業の目的】

経年劣化等により不具合が生じている小中学校の施設について、児童生徒が安全・安心で快適な環境で学習できるよう整備を行う。

### 【概要】

- 1 事業年度 令和6年度～令和10年度
- 2 総事業費 745,534千円

### 【令和8年度 事業の概要】

- 1 事業費 113,290千円
- 2 事業内容
  - (1) 小学校特別教室等冷房化事業
    - ・ 勅使小学校 実施設計 2,596千円
  - (2) 学校施設照明LED化事業実施設計 15,400千円
  - (3) 中学校講堂空調改修事業
    - ・ 橋立海青学園 工事費 86,097千円
    - ・ 錦城中学講堂 実施設計 6,997千円
  - (4) 小学校体育館トイレ洋式化事業
    - ・ 5校 実施設計 2,200千円
- 3 財源内訳
 

国（防衛施設周辺防音事業補助金 65%, 75%）	57,870千円
市（学校教育施設整備事業債 90%, 75%）	42,400千円
市（緊急防災・減災事業債 100%）	2,200千円
市（一般財源）	10,820千円

## 事業イメージ

### 【特別教室等冷房化事業】

勅使小学校  
 (R8:実施設計、R9:工事)



### 【中学校講堂空調改修事業】

橋立海青学園 (R7:実施設計、R8:工事)  
 錦城中学校 (R8:実施設計、R9:工事)

### 【LED化事業】 (事業年度:R6～R9)

	整備予定 (R7～R9)	
	小学校	中学校
R7:実施設計 R7:工事(繰越)	6校 (南郷、金明、湖北、動橋、山中、河南)	2校 (片山津、山中)
<b>R8:実施設計</b> R9:工事	6校 (三谷、橋立海青、山代、庄、東谷口、勅使)	2校 (錦城、東和)

### 【小学校体育館トイレ洋式化事業】 (事業年度:R8～R10) 既存トイレの洋式化率を50%以上とする

	整備予定 (R8～R10)	洋式化率	
		整備前	完了後
<b>R8:実施設計</b> R9:工事	5校 (錦城、錦城東、金明、作見、山中)	35.4%	87.3%
R9:実施設計 R10:工事	4校 (動橋、山代、東谷口、勅使)		

※上記以外の小学校体育館は洋式化率50%以上

# 歴史的風致維持向上計画整備事業 江沼神社庭園整備

文化課

【予算計上科目：10款 5項 2目中 文化財活用事業費】

## 事業の内容

### 【事業の目的】

歴史的風致維持向上計画に基づき、重点区域である城下町大聖寺の歴史的風致の維持向上を図る。国交省補助を活用し、歴史的風致の核である江沼神社庭園を市指定名勝にふさわしく整備を行い、加賀市固有の歴史的風致の維持向上を図る。

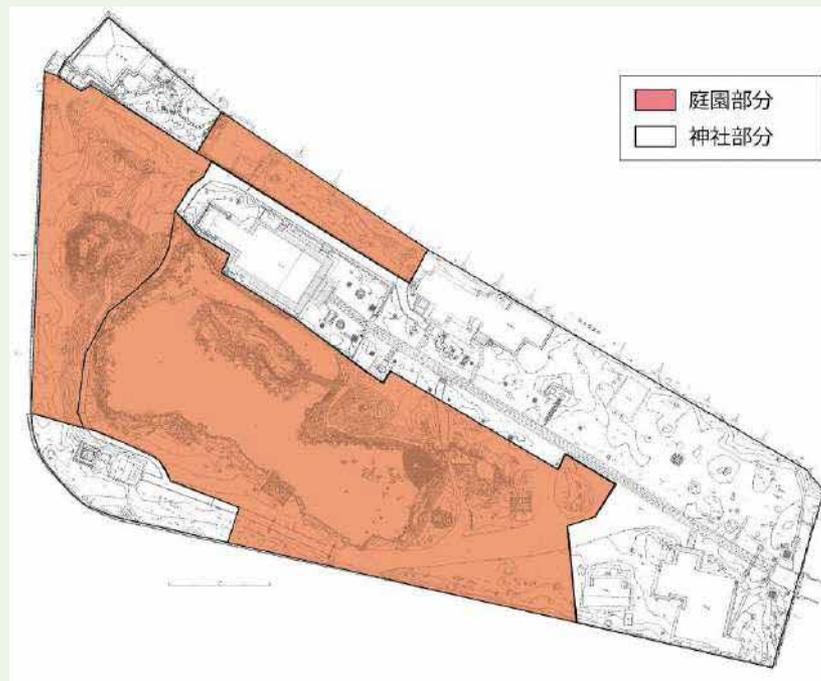
### 【概要】

- 1 事業年度 令和6年度～令和9年度
- 2 総事業費 224,043千円
- 3 完成予定 令和10年3月

### 【令和8年度 事業の概要】

- 1 事業費 57,100千円
- 2 事業内容
  - (1) 庭園整備工事費 54,500千円  
・取水口工、園路工、樹木伐採等
  - (2) 事務費 2,600千円
- 3 財源内訳
  - 国（社会資本整備総合交付金 1/2） 27,250千円
  - 市（景観整備事業債） 26,800千円
  - 市（企業版ふるさと納税基金繰入金） 2,600千円
  - 市（一般財源） 450千円

## 事業イメージ



### 【整備スケジュール】

令和6年度	実施設計
令和7年度	浚渫・池護岸復旧工・樹木伐採
令和8年度	取水口工・園路工・樹木伐採等
令和9年度	樹木伐採、サイン工等

# 加賀市武道館駐車場整備事業

地域学び・スポーツ課・文化課

【予算計上科目：10款 5項 4目中 文化財保護施設整備費  
10款 6項 6目中 武道館整備費】

## 事業の内容

### 【事業の目的】

利用者の利便性向上を図るため、隣接する歴史民俗収蔵庫（旧歴史民俗資料館）及び旧教育総合支援センターを解体し、駐車場を整備する。

あわせて解体に先立ち、歴史民俗収蔵庫内にある所蔵資料を応急的に移設する。

### 【概要】

- 1 事業年度 令和8年度～令和9年度
- 2 総事業費 133,685千円
- 3 完成予定 令和10年3月

### 【令和8年度 事業の概要】

- 1 事業費 12,285千円
- 2 事業内容
  - (1) 解体工事実施設計業務 6,600千円  
(歴史民俗収蔵庫、旧教育総合支援センター)
  - (2) 歴史民俗収蔵庫資料移設費 5,685千円
- 3 財源内訳
 

国（空き家対策総合支援事業補助金 1/2）	3,184千円
市（保健体育施設整備事業債 75%）	2,500千円
市（一般財源）	6,601千円

## 事業イメージ

年度	内 容
令和8年度	実施設計（2施設）※アスベスト調査含む 蔵書資料の移設
令和9年度	解体工事、駐車場整備



# 加賀市武道館駐車場整備事業 歴史民俗収蔵庫資料移設事業（再掲）

文化課  
【予算計上科目：10款 5項 4目中  
文化財保護施設整備費】

## 事業の内容

### 【事業の目的】

歴史民俗収蔵庫は、昭和48年に歴史民俗資料館として建設し、平成20年に老朽化の理由から施設の利用を休止、以後、歴史資料などの収蔵庫として利用している。建物は耐震化されておらず、老朽化が進んでいる。近年では、外壁の剥離等がみられ、壁の落下による事故等の危険性もあることから、建物の解体を予定している。

解体に先立ち、応急的に所蔵資料を移設し、資料の保全を行うとともに、今後の所蔵資料の公開に向けて、展示場所や展示方法などの検討を行い、歴史や文化教育による郷土愛の醸成につなげる。

### 【概要】

1 事業年度	令和8年度
2 事業費	5,685千円
3 事業内容	
(1) 資料移設運搬費	2,750千円
(2) 保管室修繕(カーテン更新)	1,400千円
(3) その他諸経費	1,535千円
4 財源内訳	
市(一般財源)	5,685千円

## 事業イメージ

### (1) 建物の現状

剥離した状態



現状

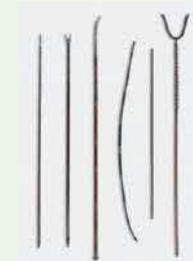


### (2) 保管資料

大聖寺町絵図



旧大聖寺関所用具



大田錦城遺稿



### (3) 移設先(案) 旧黒崎小学校 2階

# 体育施設改修事業

地域学び・スポーツ課

【予算計上科目：10款 6項 6目中 体育施設整備費】

## 事業の内容

### 【事業の目的】

主要な体育施設を計画的に改修することで、利用者の安心・安全の確保と利便性の向上を図る。

### 【概要】

- 1 事業年度 令和6年度～
- 2 総事業費 1,714,404千円

### 【令和8年度 事業の概要】

- 1 事業費 217,980千円
- 2 事業内容
  - (1) 加賀体育館照明LED化工事 10,450千円
  - (2) 中央公園野球場改修事業 58,700千円
    - ・消防設備、音響設備の工事費
    - ・照明LED化、トイレ洋式化に係る実施設計費
  - (3) 陸上競技場改修事業 3,830千円
    - ・照明LED化、トイレ洋式化に係る実施設計費
  - (4) 山中健民体育館改修事業 56,800千円
    - ・照明LED化、天井仕上・下地撤去の工事費

## 事業イメージ

- (5) 夜間照明施設LED整備事業
  - ・大聖寺テニスコート工事費 16,400千円
  - ・学校施設工事費 71,800千円
    - (錦城小、片山津小、河南小)
- 3 財源内訳
  - その他（スポーツ振興くじ助成） 16,000千円
  - 市（緊急防災・減災事業債） 59,700千円
  - 市（過疎対策事業債） 80,600千円
  - 市（保健体育施設整備事業債） 55,400千円
  - 市（一般財源） 6,280千円



山中健民体育館



中央公園野球場



大聖寺テニスコート夜間照明